

船員保險法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

船員保險法中改正法律案(政府提出)
(第一二號)

昭和二十年一月二十五日(木曜日)午後
一時十四分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 村松 久義君

理事 富田愛次郎君 理事 仲井間宗一君

理事 渡邊 健君

清水留三郎君

角 猪之助君

花村 四郎君

最上 政三君

吉川 大介君

出席國務大臣 左ノ如シ

厚生大臣 廣瀬 久忠君

出席政府委員 左ノ如シ

防空總本部總務局長 永野 若松君

海軍少將 矢牧 章君

厚生行政次官 中井川 浩君

厚生省參事官 馬場 元治君

厚生省衛生局長 入江誠一郎君

厚生省衛生局長 龜山 孝一君

厚生省勤勞局長 中村敏之進君

厚生省保險局長 伊藤 謹一君

厚生省書記官 宮田 爲益君

運輸通信省參事官 南條 徳男君

運輸通信省企畫局長 鈴木 恭一君

運輸通信省海運局長 小野 猛君

運輸通信省海運局長 有田 喜一君

運輸通信省海運局長 有田 喜一君

本日ノ會議ニ上リタル議案 左ノ如シ

船員保險法中改正法律案(政府提出)

○村松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○清水委員 議事進行ニ付キマシテ發

言ヲ御許シ願ヒマス、私ハ參考資料ヲ

第六類第四號 船員保險法中改正法律案委員會會議錄 第三回 昭和二十年一月二十五日

政府ニ要求スル前提ト致シマシテ、其

ノ參考資料ヲ要求スル理由ノ一ツトシ

テ二點ダケ厚生大臣ニ御伺ヒスルコト

ヲ御許シ願ヒマス、戰爭ノ苛烈化スル

ニ從ヒマシテ船員ノ犧牲ガ相伴フコト

ハ已ムヲ得ザル所デアリマス、現在ノ

船員ハ前線ノ航空將兵ト何等異ナラザ

ル程ノ困苦ニ耐ヘテ居ルノデアリマス、

私共ハ船員ニ對シ感謝措ク能ハザル者

デアリマス、斯クノ如キ現狀ニ於キマ

シテ國家ト致シマシテ能フ限リノ優遇

ノ方途ヲ講ズルコト固ヨリ當然デアリ

マシテ、今回政府ガ船員保險制度ニ改

善ヲ加ヘ、從來ヨリ進ンデ優遇ノ途ヲ

開クコトニナリマシタコトニ對シマシ

テハ衷心ヨリ欣ブ者デアリマス、昨日

ノ當委員會ニ於キマシテ政府委員ハ最

上委員ノ質問ニ對シマシテ、海軍關係

ノ船員ハ此ノ法案ノ中ニ包含セラレテ

居ルノデアリマスガ、陸軍關係ハ陸軍

ニ於テ共濟組合ヲ組織シ、共濟組合ノ

制度ノ下ニ於テ恩惠ヲ受ケテ居ルノデ

アツテ、此ノ法案ハ適用シナイト云フ御

答辯デゴザイマシタ、改正サルベキ船

員保險法案ニ對シ、陸軍ノ共濟組合ノ

規程ノ面ト此ノ規程ト何等相違ガナイ

ノデアリマシテ、大體ニ於テ優遇方法

ニ付キマシテハ同様ト考ヘマスルガ、

本法案審議ノ必要上、參考資料トシテ

本案ト陸軍共濟組合ノ規程トヲ對照致

シマシタモノ、即チ昨日參考資料トシ

テ私共ノ手許ニ配ラレマシタ船員保險

制度要綱新舊對照表ノ如キ、換言スル

ナラバ本案ト陸軍共濟組合ノ規程トヲ

對照シタモノヲ作製致シマシテ、陸軍

ノ共濟組合ノ規程ト共ニ至急提出セラ

レンコトヲ希望スルノデアリマス、只

今厚生大臣ガ御見エニナリマシタカラ、

私ハ此ノ際參考資料ヲ要求スル前提ト
致シマシテ、厚生大臣ニ對シ御伺ヒ致
シタイ點ガ一點デアリマス、ソレハ陸軍
ノ共濟組合ヲ解散セシメ、陸軍關係ノ
船員モ此ノ一本建ノ船員保險法案ノ中
ニ包含セシムルコトガ出來ルカ出來ナ
イカ、内容ニ於テ多少ノ相違ハアルカ
モ知レマセヌ、併シ若シ内容ニ於テ相
違ガアリ、陸軍關係ノ人ガ、或ハ一般
ノ船員ヨリ特殊ニ優遇ヲ受ケテ居ルト
致シマスルナラバ、海軍關係ハ此ノ法
案ノ中ニ包含マレテ居ルノデアリマスガ
、陸軍ト海軍ト間ニ差異ガアルト云
フコトハドウモ感心出來ナイノデアリ
マス、故ニ若シ陸軍關係ニ於テ本法案
ト對照シ、非常ニ差異ガアルナラバ海
軍關係モ亦一本建ニシナケレバナラス
ノデアリマス、私共ハソレ程ノ差異ガア
ルトハ思ヒマセヌ、就テハ此ノ問題ニ
對シマシテハ、政府ト致シマシテ陸軍
省ト打合せノ上、出來得ルナラバ、此
ノ船員保險法案ノ中ニ、陸軍共濟組合
ノ關係者ヲ包含セシムルヤウ、何トカ
オ骨折ヲ願ヒタイノデアリマス、無論
之ニ付テハ厚生當局ガ決マル譯ニ
ハ參リマス、陸軍省ノ方針モアル
デゴザイマセウ、故ニ能ク政府ト致シ
マシテ陸軍ト打合せノ上、出來ルナラ
バ簡素化、統一化ヲ圖ル意味ニ於キマ
シテ一本建ニスルヤウニ、陸軍ト打合
セノ上ニ於テ、此ノ委員會開會中ニ責
任ヲ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、若

シ此ノ場合ニ於テ、厚生大臣ガ之ニ對

シテ何カ政府ノ決マツタ方針トシテ御

答辯サイマスレバ結構デゴザイマス

ガ、或ハ此ノ委員會開會中ニ確乎タル政

府ノ御方針ヲ承リタイノデアリマス

第二段目ハ健康保險或ハ國民健

康保險、海員健康保險、其ノ他種々ナ

ル保險制度ニ分類サレテ居リマス、各

國ノ立法例ノ中ニ於テハ體カ私共ハ一

本建ニナツテ居ル所モアルシ、或ハ各

種別ニ依ツテ分類サレテ居ル所モアル

ト思ツテ居リマス、此ノ所謂健康保險

ニ對スル各國ノ立法例ガドウ云フ風ニ

分レテ居ルカ、此ノ實情ニ付テハ參考

資料ノ御提出ヲ願ヒタイノデアリマス、

今日ハドウシテモ總テ簡素化、單一

化サセナケレバナリマセヌ、其ノ爲ニ

ハ冗員ヲ削減スル必要モアリマセウシ、

或ハ事務ノ澁滞ヲ防グ必要モアリマ

セウ、無論内容ニ於テハ違ツタ點ガ幾

多ゴザイマセウ、併シ原則トシテ大體

ニ於テハ統一スル點ガ多イノデアリマ

ス、故ニ統一スル點ヲ一本建トシ、違

フ點ダケヲ特ニ分類シテ、總テノ健康

保險ヲ一ツニシテ、サウシテヤルナ

ラバ各經費ノ節約ニ於テ、或ハ事務ノ

澁滞ヲ防グ等、總テノ點ニ於テ便利ダ

ラウト思ヒマス、是等ニ對シテ政府ハ

總テノ健康保險ヲ一本建ニスルダケノ

考ヘガアルカドウカ、近ク戰時行政ノ

各立法ニ對スル審查會ガ設ケラレル譯

デアリマス、此ノ戰時ノ立法ノ改廢ニ

對スル委員會ガ出來マス場合ニ於テ、

斯ウ云フ風ノ問題ニ付テモ、其ノ委員

會ニ諮問シテ、之ヲ一本建ニスルヤウ

ニ政府ハ考ヘガアリマスルカドウカ、

此ノ二點ニ對シ參考資料ヲ要求スル前

提ト致シマシテ、厚生大臣ノ御意見ヲ

承リタイノデアリマス

○廣瀬國務大臣 只今清水君ヨリノ御

質問、洵ニ御尤モデアルト存ジマス、

此ノ共濟組合ノ問題ニ付キマシテハ、

從來色々ナ沿革ガアルノデアリマスガ、

御話ノヤウニ陸軍ト海軍ト別デアルノ

ハ如何カト云フ御尋ネモアリマスシ、

洵ニ重大ナ問題デアリマスノデ、私モ

尙ホ陸軍當局ト相談ヲ致シ、又海軍當

局ト相談ヲ致シマシテ、會期中ニ改メ

テ御答辯ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソ

レカラ尙ホ健康保險ニ關シテ、色々ナ

法律ニナツテ居ル、此ノ點ニ付キマシ

テハ一本ニ之ヲスルコトノ便宜ト云フ

コトニ付テハ、御話ノヤウナ點ガ多イ

ノデアリマス、唯中々内容ガ色々困難

ナ點モアリマスルノデ、現在研究ヲ進メ

テ居ル譯デアリマスガ、趣旨ニ於テハ

御質問ノヤウニ、出來ルダケ一本ニシ

テ簡素化スルト云フコトハ私モ洵ニ同

感デアルノデアリマス、實際ノ取扱ニ

付キマシテハ、尙ホ研究ノ餘地ヲ與ヘ

テ戴キタイト思ヒマス

○最上委員 昨昨日質問ノ時間ヲ戴

イタノデゴザイマスガ、再び最後ニ本

案ニ關聯シテ質疑ヲ致シタイト思フノ

デアリマス、唯以下御質疑シタイノ

ハ、戰時損害保險法ニ關聯シテデアリ

マス、斯ク申シマスルト本船員保險法

改正法案ト全然違フヤウニ御覽デモア

リマセウガ、之ヲ能ク考ヘタナラバ、

例ヘテ申シマスレバ金華山沖ニ敵ノ潛

水艦其ノ他ガ横行シテ、我が貨物船其ノ他ヲ撃沈シタ、サウ云フヤウナ船員ガ海岸ニ迫リ著イタ、其ノ救護ハ此ノ戰時損害保險法ニ依ツテヤルコトハ明カデアリマス、隨テサウ云フヤウナコトヲ思フト全然之ニ關係シテ居ラナイト云フ意味ニモ取レナイノデアリマスカラ、委員長ニ於テモドウカ此ノ邊ヲ宜シク御考慮アツテ、暫ク最後ノ私ノ質問ヲ御許シ願ヒタイと思フデアリマス、僭テ政府ハ去ル十九日ノ閣議ニ於テ空襲對策強化ノ要綱ヲ種々擧ゲラレテ居リマス、其ノ中ニ厚生省關係トシテ我々が取上ゲルノハ、災害罹災者對策ノ強化ト云フ約四項目ガアリマス、私ハ是等ニ付テ全部ヲ總メテ言ヒタイノデアリマスガ、本案ニ關係ガナイノモアリマスカラ、特ニ關係ノアル戰時災害保護法ニ於ケル所ノ罹災者保護ノ強化ト云フコトニ付テ御聽キタイノデアリマス、此ノ項目ヲ見ルト戰時災害保護法ニ依ル保護ノ限度ヲ引上ゲルト共ニ、保護ノ迅速化ヲ圖リ、各種法外援護事業ヲ實施スト云フコトガ明記シテアルノデアリマス、是ハ現行法ハ宜ク行ツテ居リマスガ、其ノ現行法以外ニドウ云フ強化ガ行ハレルノデアリカ、例ヘテ申シマスレバ現行法ニ於テハ、第一段ニ於テハ救助ガ行ハレル、應急救助デアアル、第二段ニ於テハ扶助ガ行ハレル、生活、療養、或ハ出產ト云フヤウナ扶助ガ行ハレル、第三段トシテハ給與ト云フコトガ行ハレルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、是等ヲドノ位進メテ強化スルノデアリマスカ、又其ノ他之ニ關係シタドウ云フ援護事業ヲ御持チデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

御質疑ハ、戰時災害罹災者ニ對シテノ保護ヲ更ニ強化スルノ方法トシテ、現在ノ戰時災害保護法以外ニ何カアルカト云フコトガ第一點デアラウト思フデアリマスガ、今日保護法以外ニ、又保護法ノ及バザル所ヲ補ツテ居ルモノト致シマシテハ、財團法人ノ戰時國民共助會ト云フモノガアリマシテ、是ガ只今御述ベノ保護法ノ及バザル所ヲ補フヤウニ致シテ居リマス、之ニ對シテ政府トシテモ十分ノ補助ヲ與ヘル等ノコトヲ致シテ居ル次第デアリマス

○最上委員 是ハ現行法デアリマスガ、何カ對策ヲ考ヘテ將來斯ウ云フコトヲヤルノダト云フヤウナ計畫デモアルガ爲ニ、斯ウ云フ要綱ガ發表セラレタ思フノデアリマス、現行法ダケナラバ斯ウ云フ要綱ハ必要ナイト思フノデアリマスガ、ドナタカ局長等ニ於テサウ云フ計畫ガアルカ、御發表願ヒタイノデアリマス

○入江(誠)政府委員 御答ヘ致シマス、只今政務次官カラ御答ヘ申上ゲマシタガ、今回共濟會運用ニ於キマシテ災害援護方法ノ足ラザル所ヲ補フ意味ヲ以テマシテ、戰時國民共助會ト云フ團體ノ運用ニ依ツテ、災害援護ノ萬全ヲ期スルヤウニ致シタイと思ツテ居リマス、其ノ事業ノ大體ノ計畫ト致シマシテハ、關係當局トモ打合中デゴザイマスガ、大體ニ於テ罹災直後ニ於ケル慰養金ノ給與、見舞金、弔慰金等ノ贈與、災害ニ依ツテ生活困難ニ陥リマシタ者ノ中デ、戰時災害保護法ニ依ツテ保護シ得ザルモノガアリマス、例ヘバ同一戸籍内ニハアリマスケレドモ、戰時災害保護法ノ適用ニ浴セナイモノトカ、或ハ死亡又ハ傷害ヲ受ケマセヌケレドモ、燒出サレタ爲ニ生活困難ニ陥リマシタモノトカ、サウ云フ法ノ及ビマセヌモノノ生活困難ナ者ニ對シテ援護ヲ與ヘル、或ハ將來新シイ職業ニ就ク爲ニ職業輔導ヲ致シマス、或ハ非常用物資ノ補充ニ付キマシテ轉送ヲ致シマス、サウ云フヤウナコトヲ今考ヘテ居リマス

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 御答ヘ致シマス、只今政務次官カラ御答ヘ申上ゲマシタガ、今回共濟會運用ニ於キマシテ災害援護方法ノ足ラザル所ヲ補フ意味ヲ以テマシテ、戰時國民共助會ト云フ團體ノ運用ニ依ツテ、災害援護ノ萬全ヲ期スルヤウニ致シタイと思ツテ居リマス、其ノ事業ノ大體ノ計畫ト致シマシテハ、關係當局トモ打合中デゴザイマスガ、大體ニ於テ罹災直後ニ於ケル慰養金ノ給與、見舞金、弔慰金等ノ贈與、災害ニ依ツテ生活困難ニ陥リマシタ者ノ中デ、戰時災害保護法ニ依ツテ保護シ得ザルモノガアリマス、例ヘバ同一戸籍内ニハアリマスケレドモ、戰時災害保護法ノ適用ニ浴セナイモノトカ、或ハ死亡又ハ傷害ヲ受ケマセヌケレドモ、燒出サレタ爲ニ生活困難ニ陥リマシタモノ

○入江(誠)政府委員 只今限度ヲ引上ゲルコトニ致シマシタノハ應急救助ノ經費ト扶助ニ關スル經費デゴザイマシテ、大體ノ各單價ヲ申上ゲマスト、例ヘバ應急救助ニ付キマシテハ假設住宅ノ建設ニ付キマシテ一戸三百五十圓以内デアリマシタモノヲ、六百圓以内ニ致シマシタ、食糧品ノ給與ニ付キマシテ一入一日四十五錢以内デアリマシタモノヲ六十錢以内ニ致シマシタ、或ハ被服ノ給與ニ付テ夏冬ソレレ、相當ナ引上ヲ致シマシタ、寢具ノ給與ニ付テ二十圓ヲ六十五圓ニ致シマシタ、生活必需品ニ付テモヤハリ一十圓ヲ十五圓ニ致ストカ、一世帯三十圓ヲ四十五圓ニ致ストカ、生活扶助ニ付テハ從來ソレレ、大體六十五錢トカ六十錢トカ

○入江(誠)政府委員 今回限度ヲ引上ゲルコトニ致シマシタノハ應急救助ノ經費ト扶助ニ關スル經費デゴザイマシテ、大體ノ各單價ヲ申上ゲマスト、例ヘバ應急救助ニ付キマシテハ假設住宅ノ建設ニ付キマシテ一戸三百五十圓以内デアリマシタモノヲ、六百圓以内ニ致シマシタ、食糧品ノ給與ニ付キマシテ一入一日四十五錢以内デアリマシタモノヲ六十錢以内ニ致シマシタ、或ハ被服ノ給與ニ付テ夏冬ソレレ、相當ナ引上ヲ致シマシタ、寢具ノ給與ニ付テ二十圓ヲ六十五圓ニ致シマシタ、生活必需品ニ付テモヤハリ一十圓ヲ十五圓ニ致ストカ、一世帯三十圓ヲ四十五圓ニ致ストカ、生活扶助ニ付テハ從來ソレレ、大體六十五錢トカ六十錢トカ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 扶助金、救助金ニ付テハ只今引上致ス考ヘハアリマセヌ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 扶助金、救助金ニ付テハ只今引上致ス考ヘハアリマセヌ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 扶助金、救助金ニ付テハ只今引上致ス考ヘハアリマセヌ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○中井川政府委員 只今ノ最上サンノ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 扶助金、救助金ニ付テハ只今引上致ス考ヘハアリマセヌ

○最上委員 只今御答ヘデハ應急救助並ニ扶助ノ關係ダケデ、是ハ御尤モデアリマス、色々單價モ上ツテ居ルカラ、今マデノヤウナ二十圓、三十圓位ノ費用デハ布團モ購入スルコトハ出來ナイ、又家等モ出來ナイカラ、ソレハサウデアリマセウ、サスレバ政府ガ發表シタ防空對策モ、個人ニ給與スル、即チ罹災者ガ災害ヲ被ツテ、其ノ爲ニ死亡者ニ對シテハ遺族扶助料、或ハ傷害者ニ對シテハ傷殘金、或ハ財產ヲ失フ者ニ對シテハ——財產ト言ツテモ僅カデアリマスガ、ソレ等ノ給與ニハ及バナインデアリマスカ之ニ付テ承リタイ

○入江(誠)政府委員 扶助金、救助金ニ付テハ只今引上致ス考ヘハアリマセヌ

ヤウナ情景が見エルのデアリマス、是等ニ付テハドウ云フヤウナ對策ヲ執ラレテ居リマセウカ、伺ヒタイノデアリマス

○入江誠政府委員 只今御述ベニナリマシタ通り、食糧以外ノ衣料或ハ鍋釜等ノ生活必需品ニ付キマシテ、配給ノ十分デナイト云フ點ノアリマスコトハ遺憾デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ農商省方面ニ於キマシテ御存ジノ通り備蓄ハ相當アリマシテ、ソレヲ以テ配給ニ應ズルト云フ外ニ、先程申シマシタ國民共助義會ノ運用ニ依リマシテ政府ノ備蓄ヲ補ヒマシテ、今後罹災者救助ノ萬全ヲ期シタイと思ツテ居リマス

○最上委員 ソレカラ應急救済等ニ依ツテ、避難先ニ於テハ蒲團モアルシ、毛布モアルシ、其ノ他日用品モ得ラレルガ、一たび親戚知人ノ所へ轉居シタ場合ニ於テハ、蒲團ヲ購入スルコトモ出來ズ、毛布ヲ購入スルコトモ出來ナイデ非常ニ困ツテ居ル、闇ヲヤレバ入ルデセウガ、闇ヲ出サズニ買フコトノ出來ルヤウナ機關ガ備ハツテ居リマセウ、之ニ付テハドウ云フ方法デ是等罹災民ヲ救フ御手配デアリマセウカ

○中井川政府委員 ソレ等ニ付テハ取扱ツテ居ルコトモ具體的ニハアリマシガ、農商省關係デアリマスノデ、後刻ソレ等ト打合セノ上御答ヘ致シタイと思ヒマス

○最上委員 實ハ之ニ關聯シテ罹災者救助ノ問題ニ付デアリマス、多少内務關係ニモ屬シテ居ルト思ヒマスガ、先ヅ質問ヲスル前ニ、是ハ東京都ノ或ル地區デアリマセウガ、最近空襲ニ依ツテ火災ヲ生ジタ地區ニ對シテ家屋ノ新築ヲ許サナイ、是ハ東京都ノミナラズ

他ノ六大都市ニモアルカト思ヒマスガ、先ヅ私ハ東京都ダケニ付テ聽キタイ、何故ニ政府ハ此ノ災害地ニ對シテ新築ヲ許サナイノデアルカ、ソレハ恐ラク色色ナ見地カラモアリマセウ、或ハ將來ノ防空都市ヲ造ル一大計畫中デアル、立案等モアルヤウナ關係モアリマセウ、其ノ他色々原因ハアリマセウガ、何故ニ罹災者ニ對スル新築ヲ許サナイノデアルカ、之ヲ一ツ御伺ヒ致シタイ

○永野政府委員 東京其ノ他最近空襲ガアリマシテ相當焼ケ跡モ出來タノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ只今ノ所當分建築ハシテ貰ハナイコトニスルト云フ方針デ進ンデ居リマス、何分只今ノヤウナ空襲ノ情勢デアリマシテ、次カラ次ト敵機ガ來襲ヲ致シマス、燒ケ跡ニ無制限ニ續キト又家ヲ建テラレルト云フヤウナコトニモナリマセウシ、又ソレ等ノ燒ケ跡ニ付キマシテハ、或ハソレヲ空地帶ニ致シマスルトカ、或ハ消防道路ニソレヲ利用致シマスルトカ、待避所、防空壕ノ設備ヲ致シマスルトカ、左様ナル施設モ致サナケレバナラヌヤウナ箇所モアラウカト思ヒマスルシ、又建築ヲ自由ニ許スニ致シマスシテモ、事實上ハ今日ノヤウナ資材不足等ノ關係モアリマスノデ、建テヨウト思ツテモ、事實ハ建タナイノデハナイカト云フヤウナコト等モ考ヘ合ハセマシテ、暫ク色々ナコトガハツキリ致スマデ建築ハ見合ハシテ貰フコトニ致シタイ、斯様ニ思ツテ居ル譯デアリマス、是ハ前々カラ東京等ハ一般ニ規則ノ上デ建築規制ガ行ハレテ居リマシテ、一應ハ建築ハ禁止ニナツテ居リマシテ、特ニ事情ノアルモノニ付テ許可ヲ致スト云フヤウナ建前ニモナツ

テ居リマスル關係上、左様ナ方針ヲ今執ツテ居ルノデゴザイマス、勿論都市計畫ト云フヤウナモノモ考ヘノ中ニ入ツテ居ルノデゴザイマス

○最上委員 外國等ニ於テハ災害ガアツタ場合ニ於テハ、特ニ空襲ニ對シテハ各地ノ都會ニ直チニ新築ヲ許ス、又家屋ノ破壊サレタモノニ對シテハ直チニ之ヲ修築スルト云フノガ建前ニナツテ居リマス、其ノ爲メ或ハ「ホテル」ガ燒ケタ、ソレガ爲メ家屋並ニ動産不動産ノ政府補償ハアリマスガ、更ニ「ホテル」ガ休ンデ居ルト云フヤウナ場合ニ對シテハ、收益損害マデモ國家ガ補償シテ居ルト云フコトハ御承知デアリマセウ、擬テソコデ御聽キマシタイノハ、然ラバ政府ガ防空施設其ノ他ニ依ツテ、是等ノ地域ニ家屋其ノ他ノ新築サセナイト云フナラバ、地主或ハ借地人、或ハ營業權、或ハ地上權等ニ對スル國家補償ニ付テ何等カ御考慮ガアリマスカ、ソレニ付テ御聽キマシタイノデアリマス

○永野政府委員 實ハ其ノ問題ハ非常ニ大キナ問題デアルト存ズルノデアリマシテ、是カラ先次ギ「ト澤山」ノ燒ケ跡ガ出來ルト云フノヲ、全部國ガ買フナリ、借上ゲルナリ、或ハ其ノ地主ガ地上權者ノ損害ヲ皆補償致スト云フコトニナリマスレバ、經費ノ上カラ申シマシテモ、是ハ非常ナ大キナモノニナルト思フノデアリマス、サレバト云ツテ今マデアツタ建物ガ一切燒ケテシマツタノニ、一切之ヲ建テルコトモ出來ナイト云フコトデ、補償モ何モシナイト云フノモ非常ニ氣ノ毒ダト云フ事情ニ相成ルト思フノデアリマス、左様ナ譯デ只今ノ所ドウシタラ宜イカ、私共モ實ハハツキリシタ考ヘガナイノデアリマシテ、是ハ相當大キイ問題トシ

テ十分研究ヲシテ見タイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○最上委員 何ヲ言ツテ居ルノデスカ、是デスコ、私達ガ最モ考ヘナケレバナラヌノハ……、一財閥トカ、資本家ヲ救フ爲メ法案ハ出ルガ、罹災者、小サナ者ヲ救フヤウナ法案ハ出ナイ、私達ガ皆サン方ノ御許シヲ得テ聽キタイノハ此ノ點デス、各國ニハ立法例ガアル、既ニ各國等ニ於テ色々是等ノコトヲ研究サレテ居ル人多イノニ、厚生省ナリ内務省ナリデナゼ之ヲナサナイノカ、地主ハ借地人ニ對シテ免除ハシテ居ラス、地主モ亦相當損害デアリマスガ、借地人モ相當損害デアル、企業整備ニ依ツテサヘモ相當國家補償ヲシテ居ルノデアリマス、之ニ付テ厚生省デモ内務省デモ、モウ少シ進ンデヤラナケレバナラヌ、是ハ重大問題デアリマス、アナタ方ハ困ツテ居ラナイガ、今罹災者ハ非常ニ困ツテ居ル、小サナ者ヲ救ハナケレバナラヌト云フノハ是デス、特ニ聲ヲ大キクシタイノハ是デス、小サナ者ハ今ドンナ生活ヲシテ居リマスカ、此處カラ色々思想ガ起ツテ來ルノデアリマス、現ニ私ノ家ノ近クニモ罹災者ガ大分居リマスガ、サウ云フ人々ハ今ドウ云フ思想ヲ抱イテ居ルカ、研究中デアルト云ツタヤウナ生溫イ言葉ハ斷ジテ許シマセウ、何等カ斷乎タル御返答ヲ願ヒタイノデアリマス

○永野政府委員 今マデノ所ハソレ程デアリマセウガ、是カラ先ヅ「ト澤山」ノ燒ケ跡ガ出來ルト云フコトデ、補償モ何モシナイト云フコトニナリマス、而シテ之ヲ全部國ガ補償スルト云フコトニナリマス、相當大キナ額ニ上ル、戰爭ノ犠牲ヲ國ダケガ負ウテ、個人ハ殆ド負ハナイト云フヤウナ風ニノミ考フベキ

問題デモナイノデアリカト思フノデゴザイマシテ、國民一人々々ガ、ヤハリ戰爭ノ犠牲ヲ覺悟スルト云フ心持ニナラナケレバ此ノ戰爭ハ遂行ガ出來ナイ、斯様ニモ考ヘナケレバナラヌカト思フノデアリマスノデ、此ノ所有權ノ問題ニ付キマシテモ、ヤハリ平常時ノ考ヘト少シ違ヘテ物ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリカト云フヤウニモ問題ヲ考ヘルノデゴザイマス、併シ先程モ申シマスヤウニ一切補償モ何モナイト云フコトデ宜イカドウカ、是ハ相當大キイ問題デゴザイマスカラ、モウ少シ研究致シタイト考ヘマス

○村松委員長 最上君、其ノ問題ハ其ノ程度ニシテ、他ノ問題ニ移ツテハドウデスカ

○最上委員 モウ少シヤラセテ貰ヒマス

○村松委員長 ソレデハモウ一言ダケ許シマス

○最上委員 此ノ問題ハ大藏省トカ厚生省其ノ他ニ關係スルノデアリマス、英國等ニ於テハ是等ニ對スル國家補償ノ費用ガナケレバ、不動産ニ對スル強制讓金制、國家補償制度ト云フヤウナヤリ方モアル、即チ不動産所有者ガ豫メサウ云フコトノアルコトヲ豫想シテ、金ヲ出シ合ツテオ互ニ救フヤウナ制度ガアル、ソレカラ又既ニ英國等ニ於テハ無保險料保險制度、保險料ナクシテ保險ガ貰ヘルヤウナ制度モアル、ヤリ方ニ依ツテハ國家ガ是等ノ費用ヲ出サナクテモ、今少シク變ツタ保險制度ヲヤレバ出來ルト思フ、既ニ英國等ニ於テ不動産ニ對シテハ行ハレテ居ル、コンナモノハ額ハ大キヲ望ミマセウ、今ダツテ是等ノ問題ニ付テハ澤山ト云フ費用ハ出テ居ナイ、微々タル費用デアル、

震災や空襲で死シテモ千圓内外ノ扶助金シカ貰ヘナイ、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、此ノ問題ニ付テ直ニ今一段何等カノ施設ヲ行ハレシコトヲ希望シマス

ソレカラ昨年七月デアリマシタカ、次官會議デ重要産業事務者ニ對スル空襲被害ニ付テ、戰時災害特別給與規則ト云フヲ決定シタヤウデアリマス、ソレニ依ルテ申慰金、見舞金、防空手当等ヲ決メマシタガ、是ハ今日實施サレテ居ルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○中村(政府委員) 昨年ノ次官會議デ決定シタモノハ、是ハ勿論行政上ノ指導デアリマシテ、指導ニ依ツテ措置シテ居リマスノデ、大體ニ於テ各工場事業場トモアノ基準デ實行致シテ居リマス、但シ一應ノ基準デアリマスカラ、會社ニ依ツテハ其ノ基準ト少シ異ル方法ヲ採ツテ居ル所ガアリマス、例ヘバ保險料ニ付キマシテハ千圓マデハ會社ノ負擔デ保險料ヲ拂フト云フヤウナ所ヲ、會社ニ依ツテハ例ヘバ七百圓程度ノ保險ニシテ居ルト云フヤウニ、多少其ノ點ハ違ツテ居リマス、是ハ行政上ノ指導ニ依ツテ居リマス關係上サウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレカラ尙ホアノ通牒ノ中ニ、工員ノ家族ガ疎開シタ場合ニ、一家族十五圓疎開手当ヲ出スト云フコトヲ決メテアリマスガ、是ハ其ノ後ノ事情ニ依リマシテ、近ク多少其ノ基準ヲ變更スル考ヘデゴザイマス、是ハ官吏ノ疎開手当ノ關係モアリマシテ、是ト調子ヲ揃ヘルベク改訂スル方針デゴザイマス

○最上委員 其ノ後十月一日デアリマシタカ、厚生年金及健康保險給付金ノ決裁措置トシテ、空襲ニ依ル災害マデモ年金ヲ給與サレルコトニナツタヤウデアリマス、サウスレバ先刻ノ申慰金ト、更ニ重要産業事務者ニ對シテハ厚生年金ガ全部貰ヘルト云フコトニ解釋シテモ差支ヘアリマセヌカ

○伊藤(政府委員) 御答ヘ致シマス、厚生年金デ支給致シマスノハ無論被保險者デナクテハナリマセヌシ、被保險者ガ職場デ斃レタ場合ニ年金ヲ支給スル、其ノ他ノ給與ガ支給サレルカサレヌカ、厚生年金ニハ關係ゴザイマセヌ、被保險者ガ職場デ空襲ヲ受ケテ斃レタ場合ニハ年金ヲ支給スルコトニ據ツテ居リマス

○最上委員 サウスルト實際ノ所デハ見舞金、申慰金、其ノ他厚生年金モ入リマス、非常ニ多額ニ入ル、申慰金モ貰ヘル、厚生年金モ貰ヘルト云フヤウナダブツタ給與ニナルノデアリマスカ

○伊藤(政府委員) ソレハ厚生年金保險ノ立場カラ申シマス、空襲災害ハ職務災害ト認メテ年金ヲ支給シテ居ル譯デアリマス、他ニ事業主カラノ見舞金トカ、或ハ其ノ他ノ方面カラノ支給金ガ出マシテモ、其ノ爲ニ之ヲ控除スルト云フ考ヘハ持ツテ居ラナイノデアリマス

○最上委員 スルト厚生年金ガ掛ケテアル工員ハソレダケ餘分ニ貰ヘル譯デアリマス

○伊藤(政府委員) 其ノ通りデアリマス

○最上委員 サウスルト是等工員ニ對シテハ今度ハ非常ニ優遇ノ途ガ講ゼラレタ譯デ、イザ警戒警報、空襲警報等ガアツテ、飛ンデ行ケバ日給ノ五割位ノ手当ヲ貰ヘルト云フコトニナルノデアリマスガ、唯一般ノ官吏ガ警戒警報或ハ空襲警報デ驅付ケタ場合ニ於テ

ハ、今ハドノ位ノ給與ヲシテ居リマスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイノデアリマス

○入江(政府委員) 只今ノ所出テ居リマセヌ

○最上委員 是等ハ餘程考ヘナイトイカヌ、會社ニ勤メテ居ル者ハ今日斯ウ云フヤウナ手当ノミナラズ、一日ノ日當或ハ食糧其ノ他ノ配給等ニ依ツテ非常ニ恵マレテ居ル、先ニ申ス如ク厚生年金ガ掛ケテアレバ、五千圓内外ノ一時金ヲ貰ヘル外ニモ支給サレル、然ルニ一方官吏ハ幾度警戒警報デ出テモ何等防空手当ガ出ナイノデハ、ドウモ同ジ人間デアリナガラ聊カ缺クル所ガアルト私ハ思フノデアリマス、是等ニ付テモ速カニ、特別ナル勤務者ニ對シテハ防空手当ヲ出スベシト云ヌヤウナ考ヘガアルカドウカ、之ニ付テ聽キタイノデアリマス

○中井(政府委員) 只今ノ御質問ハ政府全般ノ役人ニ對スル御話ダト考ヘマス、ソレ等ニ付テハ御意見ノアル所ヲ尊重致シマシテ御意思ニ副フヤウニ考ヘテ行キタイと思ヒマス

○最上委員 防空從事者、是ハ隣組デアルトカ、警防團モ含ンデ居リマセウガ、是等ノ傷害或ハ死亡等ニ對シテハ防空從事者扶助令ニ依ル以外ハ何等ノ支給ハナイと思ハレマスガ、國民警防義會ト云フヤウナ民間デハナク、其ノ他防空監視員モアリマスガ、是等ノ從事員ガ死亡或ハ災害ト云フヤウナ場合ニ於テハ、此ノ防空從事者扶助令ノミノ支給デアリマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○永野(政府委員) 法律的ニハ防空扶助令ダケダト思ヒマス、警防協會等カラ、死亡、負傷ノアツタ際等ニハ色々共濟ノ方法等モ講ジテ居リマスガ、法律ト

シテハ扶助令ダケダト思ヒマス

○最上委員 サウスルト一面サツキ申シタ如ク、一般工場ノ空襲ニ依ル死亡者ニハ、昨日總理大臣ガ軍屬ノ被ヒニスルト云フコトマデ言明シテ居ラレマス、其ノ外ニ會社ニ依ツテ違ヒマスガ、平均五千圓ノ申慰金其ノ他ガ與ヘラレル、厚生年金ノ加入者ニ對シテハ其ノ外ニ遺族ニ對シテソレノ年金ガ與ヘラレル、恩給ガ與ヘラレルト云フ時ニ、第一線ノ戰士トシテ防空監視ニ當リ、或ハ警防團トシテ、或ハ隣組防空活動ニ活動シタ人ニ對シ、其ノ扶助令ガ其ノ後改正サレタノハ知リマセヌガ、私ガ法令デ見ルノハマダ千圓デス、自由ヲ失ツテ職ニ就ケナイ者ニ對シテハ千圓乃至千五百圓、死シタ者ニ對シテハ遺族扶助料千圓、其ノ他防空義會其ノ他カラ出ルノデアリマセウガ、法律的ニハ僅カニ是ダケデアリマセウカ、之ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○永野(政府委員) 法律的ニハ是ダケデゴザイマス

○最上委員 是モ餘程考ヘナイト、一面サツキ申シマス如ク一萬圓モ貰ツテ居ル會社ノ人ト、最モ重要任務ニ從事シテ居ル警防團、防空監視員、隣組其ノ他ノ防空從事者モ第一線ニ或ル意味デナリマセウガ、是等ノ人々ノ支給ニ付テハ何等考ヘテ居ナイ、是ハドウモ違フノデアリナイカと思ヒマスガ、何等シテナイ人ガ空襲ニ依ツテ死傷シタ場合ニ於テハ、最高千五百圓位ノ扶助ガ貰ヘルノデアリマスガ、防空從事者ガ千圓及ビ千五百圓ト云フノハ、是ハドウモ間違ツテ居ルノデアリマセヌカ、私ノ調査ガ間違ツテ居ルノカモ知レマセヌガ、扶助料ハモウ少シ上ツテ居リマセヌカ、全然何モシテナイ者ガ千五

百圓貰ヘルノニ、活動ヲシテ居ル者ガ千圓ト云フコトハナイと思ヒマスガ、ドウカニ付テ御答ヘテ願ヒタイ

○永野(政府委員) 只今仰セノ通りデゴザイマス、遺族扶助金千圓、打切扶助金千五百圓デアリマス

○最上委員 サウスレバ警防團トカ、防空監視員等ガ空襲ニ依ツテ死シタト云フ時ニ、唯何モシナイデ死シタ人ニ對シテハ千五百圓、働イテ居タ人ニ對シテ千圓、或ハソレ以下ト云フヤウナコトデハ、ドウモ第一線ノ士氣ニモ係ハルト思ヒマスガ、何カ厚生省ハ此ノ點ニ付テ御考慮ガアツタカドウカ伺ヒタイノデアリマス

○入江(政府委員) 只今御話ノ防空從事者以外ノ給與金ハ、障害給與金ガ七百圓以内、遺族給與金ガ五百圓以内デアリマス

○最上委員 是ハ給與金ノ方デ私ハ最高言ツタノデ、扶助ノ方デハ生活扶助、障害ニ遭ツタ者ニ於テハ終身自用ヲ辨ズルコト能ハザル者ニ對シテハ千五百圓トナツテ居ルト云フ法令ヲ今見タノデアリマスガ、其ノ別項一、二、三項ガアリマスカラ、ドウカ間違ヒナク御願ヒシマス

○入江(政府委員) 只今ノ御話ハ恐ラク法律第四條ノ扶助金ノコトヲ御話ニナツタノデアリナイカと思ヒマスガ、是ハ從事命令ニ依リマシテ防空事務ト申シマスガ、戰時救助事務ニ從事スル者、例ヘバ醫者、看護婦等デアリマシテ、一般ノ罹災者ハ法二十二條ニ依ルノデアリマス、是ガ只今申シマシタ給與金デアリマス

○最上委員 何レニセヨ斯ウ云フ罹災者ト、第一線ニ働ク所ノ防空監視員警防團等ノ間ガ僅カナ差デス、却テ低イ

ノデス、是等ニ付テ内務省ハ之ヲ増額
スル意思ガアルカドウカ伺ヒタイノデ
アリマス

○永野政府委員 實ハ今度ノ豫算ニハ
増額ノ案ハ出シテゴザイマセヌ、警防
團其ノ他防衛事務ガ命懸ケデ以テ非
常ナ御働キヲササツテ居ルコトニ付キ
マシテハ、私共モ有難イ、氣ノ毒ナコ
トト思ツテ居ルノデアリマシテ、出來
ルダケ之ヲ精神的、物資的兩方面カラ
其ノ處遇ヲ高メテ行クト云フコトニ付
テ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
左様ナ譯デ、實ハ來年度ノ豫算ニ於キ
マシテハ、警防團ノ出動手當ノ方ハ之
ヲ倍額ニ増シマシテ、又監視員ノ給料
等モ増シマシテ、何分人数ガ多イモノ
デスカラ、相當ノ額ニナツタノデゴザ
イマシテ、漸次左様ニ處遇ヲ好クスル
ト云フコトニハ致シテ居リマスガ、今
ノ扶助金ノ問題ニ付キマシテハ、來年
ノ豫算ニハ未ダ出ル運ビニハナツテ居
ラヌノデアリマス

○最上委員 警防團ノ出動手當デアリ
マスガ、是ハ警防團令ニ依レバ市町村
費ニナツテ居ルノデアリマスガ、國家
ガ多少助成シテ居ルと思ヒマス、最近
頻々タル警戒或ハ空襲警報ノ爲ニ、町
村ハ非常ニ出費ガ多イノデアリマスガ、
之ニ付テ國家ハ今度ノ位ノ増額ヲサ
サレタノデアリマスガ、サツキ言ツタ
ノヲ更ニ詳シク御願ヒ致シマス

○永野政府委員 今マデハ二分ノ一補
助デ、最高五十錢ト云フコトニナツテ
居リマシタ、隨ヒマシテ一圓市町村ガ
出セバ、其ノ半分ノ五十錢ヲ國ガ補助
致ス、八十錢シカ出サナカッタ場合ニ
ハ四十錢シカ補助シナイ、二分ノ一補
助ノ最高五十錢、今度ハ全額補助致シ
マシタ、全額補助ノ一圓ト云フコトニ

致シマシタ、隨マシテヒ一文モ市町村
ガ支給シナクテモ一圓補助ヲ致ス、尙
ホ其ノ外ニ、市町村ガ國ノ一圓ノ外ニ
幾ラ補助致シテモ、ソレハ市町村ノ考
ヘデ宜シイ、斯ウ云フヤウニ改正ヲス
ルコトニ致シテ居リマス

○最上委員 能ク分リマシタ、此ノ問
題ニ付テモ實ハ時間ガアレバマダ御聽
キシタイノデスガ、市町村等ニ於テハ
非常ニ困ツテ居ル、今ヤサウ云フコト
ノ聲ニ警防援護會ナドト云フモノデ寄
附金ヲ集メテ、漸ク之ヲヤツテ居ルト
云フヤウナ譯デアリマスガ、更ニ來
年度ニハ之ヲ倍加スルヤウナ増額方ヲ
希望致シマス

最後ニ、斯カル國家ノ犧牲者ニ對シ
テ、役場ニ於ケル所ノ屈出等ニ於テモ、
變死者扱ヒノ書類ヲ出サナケレバナラ
ヌト云フノデ、父兄ハ非常ニ困ツテ居
ルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、
一々變死者檢調調査ヲ出ストカ何トカ
云フヤウナ譯デ、是等遺家族ハ非常ニ
困ツテ居ル、又斯カル災害ニ遭ツタト
云フコトヲ、家人ガ友人知己ニモ通知
スルコトサヘ出來ナイ現狀デアリマス、
ソレバカリデハナイ、被害者ノ遺族ガ
之ニ對シテ最後ノ葬ヒモ出來ナイ、當
局ニ相當ノ手續ヲスルト云フヤウナコ
トデ、非常ニ困ツテ居ルヤウナ次第デ
デアリマスガ、是等ノ役場ニ於ケル屈
出等ハ、變死者デナク、何カ名ヲ變ヘ
テ、名譽アル犧牲者デアリマスガ、
何等カノ是等ノ手續ヲ簡單ニスル方法
ハナイカ、又親戚知人ニ對シテハ斯ウ
云フヤウナコトハ、或ル程度ノ通知等
モ自由ニサシテハドウカ、是等ニ付テ
御答ヘテ願ヒタイ

○永野政府委員 只今ノ手續上ノコト
ハ恐ラク警察關係ノ規則ニナツテ居ル
ノデアラウト存ジマスガ、能ク調べマ
シテ私共ノ方カラモ、只今仰セニナリ
マシタコトハ極メテ御尤モナコトデゴ
ザイマスノデ、希望ヲ述べタイト思ツ
テ居リマス

○入江誠政府委員 戰災死亡シマ
シタ方ガ、變死ト云フ名稱ヲ付ケラレ
ルト云フコトハ洵ニ勇氣ノ毒デアリマ
スノデ、名稱ノ變更ニ付キマシテ近ク
成案ヲ得タイト思ツテ居リマス

○村松委員長 角落之助君
○角委員 私ノ質問ハ本案ニ關スル直
接ノ質問ト關聯質問トノ二ツニナルノ
デス、先ヅ直接本案ニ關スル質問デ第
一ニ御伺ヒ致シタイノハ、船員ノ待遇
問題ト致シマシテ、待遇官吏ノ事務ハ
此ノ二十五日カラ實施サレルヤウニ聞
イテ居リマスルガ、此ノ船員ノ身分確立
ニ對シマシテ、此ノ船員ノ保險法ハ適
用サレルノカドウカト云フ點デアリマ
ス、ソレカラモウ一點ハ船員保險法ハ
主ト致シマシテ船員所有者ヲ對象トシ
テ立案サレテ居ルノデアリマス、是ハ
尤モ當時ノ事情トシテハ斯カルベキ
デアツタラウト思ヒマスガ、今日運通
省ノ所管ニナツテ居リマス所謂船舶運
營會ガ強化サレ、配船、航海ガ總テ此
ノ船舶運營會ニ一元化サレヨウトシテ
居ル、サウ致シマスルト事實ニ於キマ
シテ船舶ガ國有ニナル、船舶國有論デ
アリマス、船舶國有論ノコトヲ申シマ
スルト、當局ハドウモ餘リ歡迎シナイ
ヤウデアリマスガ、事實ニ於テ船舶ハ
既ニ國有ニナツテ居ル、サウ致シマス
ト船員生命保險ノ各條文ニコ、デ重大
ナ改正ヲシナケレバナラヌコトニナル
ノデアリマスガ、是等ニ付テ厚生省
當局ノ準備ハドノ程度ニナツテ居ル
カ、此ノ二點ニ付テ先ヅ質問ヲ致シタ
イト思ヒマス

○伊藤（建）政府委員 最初ノ御尋ネノ
船員ガ待遇官吏ニナツタ場合ニ、船員
保險ノ適用ガアルカドウカト云フ御質
問デゴザイマス、先般船員ガ待遇官吏
ニ相成リマシタガ、此ノ船員ニ對シマ
シテハ國庫カラ俸給ヲ支給スルコトナ
ク、船舶運營會カラ俸給ヲ支給スルコトナ
サレルコトニナリマシテ、恩給法ノ適
用ヲ受ケマセヌノデゴザイマス、隨ヒ
マシテ總テ是等ノ船員諸君ニ對シマシ
テハ、船員保險ノ被保險者トシテ取扱
フコトニ致シテ居リマス

ソレカラ第二ノ御質問、船員保險法
ハ總テ船舶所有者ヲ中心ニシテ居ツテ、
今日ノ事情カラ申シマスレバ船舶運營
會ガ殆ド運營シテ居ルカラ、船舶所有
者ト云フ表現ノ仕方デハジツクリ合ハ
ナイノデアリマス、御質問デゴザ
イマシタガ、是ハ現在ノ船員保險法ノ
第十條ニ斯ウ云フ規定ガゴザイマス
「本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中
船舶所有者トアルハ船舶共有ノ場合ニ
在リテハ船舶管理人、船舶賃借ノ場合
ニ在リテハ船舶借入人トス」云フ規
定ガゴザイマシテ、是ハ今同ノ改正案
デモ何等變更ヲ加ヘナイ譯デアリマ
ス、現在デモ船舶運營會ヲ船舶借入人
トシテ船員保險法ハ即チ船舶借入人
デアリ、隨テ、船員保險法第十條ニ依
ツテ扱ツテ居ル譯デアリマス、是ハ聊
カ變タト云フ感ジテ御持チニナツテ居
ルカモ知レマセヌガ、國ガ徵用シタ船舶
ヲ船舶運營會ニ貸付ケル、船舶運營會
ハ之ヲ借入レル、其ノ關係貸借ノヤ
ウナ關係ヲ取ツテ居リマスガ、船員保
險法デモ船舶運營會ヲ船舶借入人、即
チ船舶所有者トシテ扱フノデアリマス

○角委員 只今ノ御答辯ヲ承リマス、
一言ニシテ申シマスレバ概念法學論デ
アリマスガ、是ハ事實問題ニ依ツテ考
慮シナケレバナラヌノデヤナイカト思
フノデアリマス、現ニ此ノ運營會ノ強
化ニ依リマシテ各船會社デハ殆ド自滅
スルモノガアリマス、又甚ダ影ノ薄ク
ナルモノモアリマシテ、事實上國ガ船
舶ヲ國有ニシナケレバナラヌ時代ニ到
達シテ居ルノデアリマス、私ハ運營會
ノ問題ニ付テ後デ海運當局ニ質問致サ
ウト思フノデアリマスルガ、サウ云フ
概念論的ニ此ノ問題ヲ解釋スベキモノ
デヤナイ、寧ロ國ガ船舶ヲ持ツテ居ル
有者ト云フノハ形ダケノ話デ、實際運
航シテ居ルノハ國家デアリマスガ、
此ノ船員保險ノ對象モ國家ガ對象ニナ
ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ私ハ
考ヘルノデアリマス、例ヘバ各條文ヲ
見テモサウデアリマス、第三條ニ船舶
所有者ヨリ受ケル給料及ビ之ニ準ズベ
キモノトアリマスガ、船員ノ給料ハ、
此ノ運營會ニ運航ガ一元化サレマス、
運營會カラ貰フコトニナリ、當然斯ウ
云フ條文ハ既ニソコニ於テ改正サレナ
ケレバナラヌ、ソレカラ第九條ニ於テ
モ其ノ通りデアリマス、一々條文ヲ披
露スルコトハ煩ニ堪ヘマセヌカラ私ハ
申上ゲマセヌガ、更ニ外ノ所ニ保險金
ハ船會社ガ二分ノ一拂込ムノダト云フ
コトニナツテ居リマス、所ガ船會社ガ
自滅シ、或ハ影ガ薄クナツタ者ニ對シ
テ保險金ヲ負擔セイト云フコトハドウ
モ道理ニ合ハナイ、寧ロ此ノ保險金ハ
運營會ガ負擔スベキモノデアアル、斯ウ
云フ風ニ各條文ヲ見テ見マス、寧ロ
國家職分ヲ代行シテ居ル運營會ヲ對象
トシテ將來改正シナケレバナラヌモノ
デヤナイカト思フノデアリマス、今當

局ノ申サレマシタノデハ、唯概念法學
論トシテ甚ダ私共ノ所見ト異ナルノデ
アリマス、併シ是レ以上ハ既ニ意見ノ
相違ニナルト思ヒマスルガ、當局ニ於
カレマシテハ慎重ニ考慮シテ然ルベキ
問題デアラウト存ジマシテ、參考ノ爲
ニ私ノ意見ヲ申上ゲタ次第アリマス
續イテ御伺ヒシタイノハ、第一ハ待
遇官吏ナリマシタ船員ハ、陸海軍公
用船ノ乗組ニ限定サレルモノデアリカ、
或ハ又運賃會ニ所屬スル船舶ノ乗組員
モ同様官吏ノ待遇ヲ受ケルモノデアリ
マスカ、第二ハ官吏待遇トナリマスル
船員ノ數ハドレデケアルノカ、其ノ中
デ高等官ノ待遇ヲ受ケル者ト判任官ノ
待遇ヲ受ケル者ノ數ヲ御質問致シタイ
○有田政府委員 待遇官吏ニナリマス
者ハ、船舶運賃會ノ運航スル船舶ニ乗
組ム者ヲ以テ原則ト致シマス、ソレガ
運輸通信省ニ於ケル船舶待遇官吏トシ
テノ職員トナル譯デアリマスガ、陸海
軍ノ徵用船ニ乗組ムベキ船員ニ對シマ
シテハ、恰モ現在デモ運輸通信省ノ所
謂派遣官吏ト致シマシテ、野戰郵便ニ
於キマシテ、通信事務官或ハ通信書記
ガ、運輸通信省ノ役人デアリナガラ從
軍シテ居リマスト同様ニ、待遇官吏タ
ル運輸通信省ニ於ケル其ノ船員ガ陸海
軍ニ派遣サレマシテ、サウシテ同ジク
待遇官吏トシテ扱ハレル、斯ウ云フコ
トニナルノデアリマス、尙ホ待遇官吏
トナルベキ船員ノ數ハ大體——人程度
ト豫想サレテ居リマス、其ノ中デ奏任
文官トナルベキ者ハ約——人、斯様ニ
推定致シテ居リマス

ノ官吏待遇トナリマシタコトハ、海上
輸送ノ重責ニ挺身シツ、アル海員ノ職
分ノ國家性カラ見マシテ、私ハ寧ロ當
然ナ措置デアルト思フト同時ニ、船員
ノ士氣ノ昂揚ヲ圖ル上カラ見マシテモ、
甚ダ望マシイ點デアルト存ジマス、併
シ現在ノ船員ノ實情、及ビ海員ト致シ
マシテ徵用サレテ居ル方々ノ本當ノ露
骨ナ感情カラ申シマスル、待遇官吏
デケデハ船員諸君ハ満足ヲセナイ、唯
形デケハ官吏トシテノ身分ヲ保障サレ
タガ、實際行ツテ居ル船員ノ職分ト云
フモノハ、兵隊サン以上ノ激務ニ從事シ
テ居ル、而モ船種ノ數カラ申シマシテ
モ、恐ラク飛行機ニ搭乘シテ居リマス
ル兵士ノ數ニ私ハ次デデアラウト思
フ、而モ船員ハ航海中ニ於キマシテハ
何等ノ武器ガナイ、武器ヲ持タザル兵
士、而モ作戦上此ノ重要ナ地位ニアル
船員ガ、唯單ナル官吏待遇デアツテハ
到底私ハ満足スルコトハ出來ナイト思
フ、私ハ昨年末デアリマシタカ、澤山
ノ徵用ノ方ガ神戸ノ海運局ニヤツテ來
タ時ニ、其ノ大部分ノ方ニ私ハ會ヒマシ
タガ、現ニ徵用ヲ受ケテ行カレタ方々
ノアノ生活狀態ヲ見ルト、我々々々寧
兵士トナツテ第一線ニ挺身スルコトハ
大キナ感激ヲ持ツガ、軍人デハナクシ
テ、唯日傭人夫トカ何トカ云フヤウナ
待遇ヲ受ケテ冷遇サレテ居ル、是デハ
ドウカト思フ云フヤウナ感情ヲ露骨
ニ持ツテ居ル方ガ私ハ多クサト思
フ、ソコデ現在ノ船員諸君ノアノ職分
カラ見テ、今政府ガ船員ニ對シテ官吏待
遇ヲ附與スルノハ、彼等ノ職分ガ明カ
ニ國家性ヲ持ツテ居ルノドト云フ眼目
カラ參ツテ居ルノデアリマスルガ、更
ニ私ハ茲デ躍進致シマシテ、船員全體
竝ニ今後徵用サレル海員ニ對シマシテ

ハ、兵役法ヲ適用致シマシテ彼等ヲ總
テ海軍軍人トシテ採用スルノ意思ハナ
イカ、此ノ點ニ對シマシテ海軍當局ノ
御説明ヲ伺ヒタル存ジマス
○矢野政府委員 只今ノ御意見御尤モ
ニ存ジマス、海軍ニ於キマシテハ、軍
人兵器ヲ輸送致シマスル船ニ乗込シテ
居リマス待遇官吏ヲ、特別任用ノ現役
軍人トスルコトニ付キマシテ一應ノ研
究ヲ終リマシタ、マダ事務的ニ關係各
方面ト檢討中ノ狀況デアリマス、一應
海軍トシテハ研究ヲ終ツタノデアリマ
ス、終リ
○角委員 只今海軍當局ノ御答辯ニ依
リマスル、全般ノ海員竝ニ將來海員
トシテ徵用ヲ受ケル者ニハ兵役法ヲ適
用スベク目下研究中デアルト云フ御答
辯ノヤウニ私ハ拜承致シマシタ、私ハ
今日ノ決戰態勢カラ見テ今考究中ダト
云フヤウナコトデハ寧ロ遲キニ失シヤ
セヌカト思フノデス、私ガ此ノ質問ヲ
スル所以ノモノハ、海軍當局デハ既ニ
是ガ實施出來ル準備ガアルモノダト思
ツテ、今日實ハ御伺ヒシヤウナ次第
デアリマスルガ、一體戰爭ニ勝ツト云
フ此ノ大キナ問題カラ申シマシテ、人
ノ力ヲ如何ニ有效ニ、如何ニ組織的ニ
使フカト云フ點ガ其ノ一ツノ大キナ契
機ニナルト思フノデス、人間ノ力ヲ將
棋ニ譬ヘルト云フコトハ甚ダ不謹慎ダ
ト存ジマスケレドモ、持駒ヲ持ツテ居
ル者ガ、ソレヲ如何ニ有效ニ使フカト
云フコトニ依ツテ將棋ノ勝敗ガ決定ス
ルノデアリマス、ソレト同時ニ、國家
ガ戰爭ニ勝ツト云フコトニハ、無論軍
需生産、海運、食糧問題ト云フヤウナ
色々ナ條件ノアル中ニ、特ニ其ノ國ノ
持つ人間ノ力ヲ如何ニ組織的ニ有效ニ
使フカ、人間一人々々ノ力デハナクテ、

ソレヲ組織的ニ使フト云フ點ニ勝敗ヲ
決定スル鍵ガ握ラレテ居ルト私ハ思フ
ノデス、曾テ武田信玄ハ、人ハ城デア
リ人ハ堀デアリ人ハ石垣デアルト云フ
コトヲ言ツテ居リマス、サウシテ武田
信玄ハ總テハ人間ノ力ヲ中心ニシテ戰
術ト云フモノヲ考ヘラレテ、立派ナ城
ヲ築クト云フコトヲ一向ニ考ヘラレナ
カツタ、私ハ此ノ武田信玄ノ名言ヲ考
ヘマス、今日ハ人ガ飛行機デナケレ
バナラス、人ガ船デナケレバナラスト
云フ時ニ、少クモ海員諸君ヲ速カニ
兵隊サントシテ採用サレ、兵役法ヲ適
用致シマシテ、彼等ノ組織力ヲ戰線ノ
上ニ發揮セシメルト云フコトハ、私ハ
現在ノ戰局ノ上カラ見マシテ當然ノ處
置デアルト信ジマス同時ニ、是ガ實
現ニ對シマシテハ更ニ一層海軍當局ノ
御努力ヲ希望スル次第デアリマス
續イテ本案ノ關聯質問ト致シマシテ、
先ツ港灣法ノ問題ニ付テ運通當局ノ御
所見ヲ拜聽致シタイト存ジマス、申上
ゲルマデモナク、戰爭ガ段々長期戰ト
ナツテ來マス、無論兵隊サンノアノ
卓拔ナル戰術ト云フコトハ肝腎ニハ違
ヒアリマセヌガ、其ノ戰術或ハ作戦ト
竝行致シマシテ、海運問題ノ解決ト云
フコトハ恐ラク戰爭ノ勝敗ヲ決定スル
根本的ナ問題デナイカト私ハ信ズルノ
デアリマス、所ガ大東亞戰爭勃發以來
政府ノ採リ來ツタ海運問題、少クモ
海上輸送力ノ増強ト云フ問題ニ付キマ
シテハ、戰爭ノ線ニ沿ツタ適切有效ナ
施策ガアツタカト申シマス、私ハ露
骨ニ申スト殆ドナカツタト思フ、此ノ
内閣ニ於テモサウダガ、前内閣ニ於テ
モ、日本ノ戰爭對策ニ對スル凡ユル施
策ノ中デ、舊態依然トシテ尙ホ動脈硬
化的ニ其ノ機能ノ退嬰シテ居ルモハ何

カト言フト、此ノ海運問題デアラウト
私ハ思フ、所ガ前内閣ノ末期カラ遞信
鐵道兩省ガ合併致シマシテ運通省ガ出
來タ、運通省ノ出來タ狙ヒ所ハ輸送ノ
綜合計畫ダト云ツテ居ル、輸送ノ綜合
計畫ヲ樹立スルノダト言ヒナガラ尙ホ
依然トシテ此ノ實現サレタコトヲ私ハ
耳ニセナイノデス、ソコデ今日運通當
局ニ於テハ、海運輸送力ノ増強ヲ圖ル
ト云フ見地カラ、運賃會ノ強化問題、
今マデ運航實務者ニ委ネテ居ツタ配船
運航ヲ、運通省ガ直接監督シテ居リマ
ス、船舶運賃會ニ總テ一元化シテ海上
輸送力ノ強化ヲ圖ラントスル成案ヲ得
タガ如ク申サレテ居リマスルガ、運賃
會ノサウシタ強化デケデハ輸送力ノ増
強ニ相成ラヌト私ハ思フ、モツト躍進
的ニ考ヘナケレバナラス、ソレニハ港
灣問題ヲ一體ドウスルノカ、港灣問題
ヲ解決セズシテ配船、運航問題ヲ考ヘ
タ所ガ、到底ソレガ何等ノ役ニ立ツモ
ノデヤナイト私ハ思フ、元來申上ゲル
マデモナク港灣ト云フモノハ海運相互
ノ中繼ノ場所デアリマス、而モ又陸運
ト海運トノ接合ノ場所トモ言フコトガ
出來ルノデアリマス、一面工業的ナ色
彩ノ濃厚ナ港灣ニアリマシテハ、生産
ガ直接海運ニ結ビ付クノデアリマシテ、
ソコニ鐵道ヤ船舶ガ一ツ結ビ付キマシ
テ強大ナ交通機關トナツテ居リマス
〔委員長退席、仲井問委員長代理
著席〕
此ノ港灣ノ中ニハ、海運モ、鐵道モ、
或ハ又船モ、曳船モ、岸壁モ、倉庫モ、
總テノ要素ガ含マレマシテ、一ツノ組
織的ナ綜合的ナ交通機關トナツテ居ル
ノデアリマスガ、今日ノ作戦ハ此ノ生
産ト直接ノ結ビヲ持ツテ居ル、サウシ
テ作戦ト生産ガ直結シテ綜合戰力ガ、

總テノ戰力ヲ支配シテ居ルト云フ此ノ時代ニ於キマシテ、配船運航ノ一元化ヲ圖ルト云フコトハ、結局港灣行政ノ統一ト云フ問題カラ出發セナケレバ、決シテ私ハ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイデアラウト信ズルノデアリマス、所ガ此ノ港灣行政ノ統一ト云フコトニ付キマシテハ、前內閣以來此ノ法案ノ準備アリト稱セラレ、突込ソデ見ルトマダ提案スルノニ付テハ躊躇シテ居ルト云フヤウナコトデ、斯ウ云フ風ナ關係カラ只今ノ政府ニ引繼ガレテ居ル、只今現政府ニ於キマシテハ運輸交通關係ノ綜合計畫ヲ圖ルンダト云フ切札ヲ出シテ居リマスルカラ、私共ハ、多年ノ懸案タル、而モ戰時必勝態勢ノ確立ノ上ニ於テ最モ必要ナル港灣問題ノ解決ニ、一步ヲ踏ミ出スデアラウト豫想シテ居ツタ所ガ、今尙ホ此ノ問題ニ付テハ、準備ハアルノカナイノカ知リマセヌガ、何トモ噂モ出ナイ、斯様ナ重大問題ヲ度外視致シマシテ船舶運營會ノ強化問題ヲ圖ツタ所ガ、是ハ到底所期ノ目的ヲ達成シ得ザルモノト私ハ考ヘルノデアリマシテ、此ノ見地カラ致シマシテ、當局ニ於テハ港灣法設定ノ準備若シアラバ、其ノ點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ得タレバ、同時ニ、若シ準備アリト致シマスレバ、何時頃此ノ法律ヲ御提案ナサルノカ、先ヅ此ノ一點ニ付テ御所見ヲ拜聽致シタイト存ジマス

○鈴木(泰)政府委員 御答(致シマス、只今ノ角サンノ、運送省ガ出來テ運輸行政ヲ統制シテ海陸一體ノ運營ヲスルノダ、而モ運航面ニ於テハ運營會其ノ他著々進メラレテ居ルガ、海陸ノ接合點デアル港灣ノ面、而モ非常ニ錯綜シテ居リマス面ガ何等ヲ著ケラレテ居

ラナイト云フコトハ、此ノ決戰體制ノ際ニ遺憾デアルト云フ御説ハ、全ク御尤モデアリマシテ、私共モ左様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、港灣法ヲ提出シナカツタ理由ニ付キマシテハ、昨日大臣カラ豫算委員會ノ際ニモ御答辯申上デテ居ルノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ是ガ長イ間ノ問題デアリマス

ト云フコトハ、結局公私ノ關係ガ我ガ日本ノ港灣ニハ非常ニ錯綜シテ居リマス、然ルニ現在ノ時局、眼前ノ戰力ニ對シテ寄與スルト云フ面カラ見マスルト、此ノ色々錯綜致シテ居リマス諸權限ヲ一ツノ法律ニ纏メ上ゲマシテモ、其ノ法律ノ效果ガ實效ヲ擧ゲマスノニヤ、ヤハ相當ノ時間ガ必要ナルヲ考ヘラレノデアリマス、勿論港灣ニハ設備ノ面、運用ノ面ガゴザイマス、ソコデ私共ト致シマシテハ、今日最モ必要ニ施策ガ考ヘラレナケレバナラナイ面ハ、只今ノ御話ニモアリマシタ通り、港灣ノ運用ノ面デゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ假令法律ガ制定セラレマセヌデモ、或ハ他ノ法令ノ準用ニ依リ、或ハ行政施策ノ強化ニ依リマシテ、相當ノ效果ハ擧ゲ得ラレルモノト考ヘテ居リマス、勿論法律制定ハ望マシノデアリマスガ、今日ノ情勢ガ左様ニナツテ居リマスノデ、法律ハ只今提出セナイコトニナツタノデアリマスガ、例ヘバ軍需會社法ノ準用ヲ得マシテ、港灣ノ倉庫會社デアルトカ、或ハ港灣運送會社デアルトカニ、軍需充足會社トシテ指定致シマシテ、仕事ノ國家ノ責任ヲ更ニ強化致シマスルシ、勞務ノ點ニ於キマシテモ、或ハ財政的方面ニ於キマシテモ安定ヲ得サセルヤウニ、目下準備ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ倉庫業、或ハ港灣運送

業ト協力一體ニ仕事ヲサセル、更ニ荷役會社ニ對シマシテモ之ヲ包含致シマシテ、一體ノ運營ヲ期スルヤウナ行政措置ヲ講ズルヤウニ、目下準備致シテ居ル次第デゴザイマス

○角委員 甚ダ私共ハ其ノ答辯ヲ拜聽致シマシテ満足ヲセナイノデアリマス、敢テ小磯總理大臣ノ言葉ヲ引用スル譯デハアリマセヌガ、國家ガ既ニ生カ死カノ土壇場ニアル此ノ時ニ、戰力増強ノ上ニ最モ必要ナル、最モ根幹トナル港灣問題ノ解決ガ出來ナイ、是ハ私ハ其ノ説明ヲ承リマシテ全ク失望スルノデアリマス、港灣問題ノ解決ノ大切ナルコトハ、是ハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、私共ガ考ヘル所ニ依リマシテモ、一ツノ物動計畫ヲ立テルニ付テモ、此ノ物動計畫ニ基キ船ノ配船デアリ、運航デナケレバナラナイ、所ガ從來當局ガ考ヘテ居リマスル此ノ船ノ問題ヲ見マスト、物動計畫トノ關係ト云フモノハ何モ考慮サレテ居ラナイ、唯支離滅裂ナ考ヘ方ヲヤツテ、船ノ配船シタリ、運航シタリシテ居リマス、デアリマスカラ、海上輸送ノ能力ハ益々減退シ、作戰ノ上ニ重大ナル齟齬ヲ來シテ居ルコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイ點デアリマス、今日日本ノ直面致シテ居リマスル戰局ノ様相ハドウカト云フコトハ私ハ敢テ申シマセヌガ、此ノ戰局ノ様相ヲ見テ我々ハ痛憤シ尙ホ失望スルモノハ海運ノ輸送問題、輸送能力ガ減退シテ居ルト云フ所ニ、日本ノ大變ナ不利ナ情勢ガ展開サレテ居ルノデアリマス、斯クノ如ク用兵作戰ノ上ニ直接關係ヲ有スル此ノ船ノ問題、海上輸送ノ問題ノ根本ヲナス港灣問題ハ、色々ナ摩擦ガアルカラ、色々面倒ナ問題ガアルカラ之ニ姑ク手ヲ著ケナイノダト云

フコトハ、果シテ當局ガ此ノ時局ヲ認識シテ居ル所カドウカト私ハ思フノデアリマス、斯様ナコトデハ此ノ戰爭ヲ切抜ケル體制ハ今ノ當局ニハ期待スルコトハ出來ヌノデヤナイカト私ハ思フノデス、斯ウ云フコトデヤ戰爭ナンカ出來ルモノデヤナイ、例ヘバ今生産ト作戰ト云フコトハ直結シテ居ル、此ノコトガ綜合戰力トナル、綜合戰力ノ接合線トナルモノハ船ダ、此ノ船ガ港灣問題カラ出發スルノダト云フコトガ既ニ明白ナル理論デアルト致シマスレバ、多少ノ相剋摩擦、面倒ナ手續ガアツテモ、是ハ出來ナイト云フコトハナイト思フ

〔仲井間委員長代理退席、委員長著席〕
私ハ戰爭ニ勝ツ爲メナラト云フ此ノ信念サアレバ、直チニ解決ガ出來ルト思フ、是ガ解決ガ出來ナイト云フ所ニ、當局ノ弱體振リヲ發揮シテ居リハセヌカト思フノデアリマスガ、ドウモ弱體振リヲ發揮シテ居リマス當局ニ、幾ラ御注文申上ゲマシテモ、是ハ無駄カト存ジマスカラ、此ノ港灣問題ハ何レカノ機會ヲ見テ又御伺ヒシタイト思ヒマス
次ニ運營會ノ問題ニ付テ二、三御所見ヲ拜聽致シタイト存ジマス、船舶運營會ノ強化方策ニ付キマシテハ、曩ニ運營會總裁ノ更迭ニ當リマシテ、前田運送大臣ノ新聞ニ發表サレマシタ談話ニ依ツテ、稍、基本的ナ性格ヲ想像ハ出來マスガ、一體運營會ガ、總テノ配船、總テノ運航ヲ直營シテ行クト云フ當然ノ歸著ト致シマシテ、從來ノ實務者ガ或ハ自減スルモノモアリマセウシ、或ハ又影ガ段々薄クナツテ行ク實務者モソコニアリノデアリマスガ、實務者

ノ仕事ヲ取上ゲテ運營會ガ直營ヲシテ行クト云フ事柄ハ、概念的ニ申セバ大變結構ナ話ダト私ハ思フ、併シ私共ノ理想カラ申スト、先刻申上ゲタヤウニ運營會ノ如キモノヲ今拵ヘタツテ、船舶ノ配船、運航ナンカ出來ルコトデハナイ、戰力ノ増強ニ大シテ寄與スルコトハ出來ナイ、寧ロ港灣問題ノ解決ニ依リマシテ一ツノ統合集約シタ役所ヲ設ケテ、運航問題或ハ海上輸送ノ増強ニ付テ、總テノ問題ヲソコデ集約統制シテ行クト云フ位ニハツキリシタ國家性ヲ持タセナケレバ、今日ノ行詰ツタ海運對策ハ樹立出來ナイト云フ位ニマデ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノコトハ出來ナイト云フ御當局ノ考ヘ方カラ、唯運營會ヲシテ其ノ運航、配船ノ一元化ト云フ面カラ此ノ衝ニ當ラシメタノダト私ハ考ヘル次第デアリマス、サウ致シマス、配船、運航ヲ從來ノ實務者ニ代ツテナサレルノデアリマスガ、此ノ仕事ヲスルノニ付テ如何ナル具體的ナ準備ヲシテ居ルカ、此ノ點デアリマス、又機構ヲドウ云フ風ニスルノカ、直營ニスルニ當ツテ内部ノ機構ハ一體ドウナツテ居ルノカ、或ハ具體的ニ其ノ仕事ヲスルノニ如何ナル機關ヲ内部ニ設ケルノカ、此ノ點デアリマス、一口ニ申シマシテモ船ヲ動かスト云フコトハ中々容易ナコトデハナイ、航路ト地域ト貨物、此ノ三ツヲ勘案致シマシテ、所謂適船適貨主義ヲ考慮シテ、適船適貨主義ノ下ニ配船シ運航シナケレバナラヌノデアリマスガ、今マデノ運營會デハ、具體的ナ問題ニナツテ來ルト其ノ手足モナケレバ、又具體的ノ準備モナイコト思フノデアリマスガ、今ノ運營會ハ之ヲヤルノニ當然機構ト人ノ配置ト云フコトガ問題ニナル、

此ノ準備ガドノ程度ニ進マレテ居ルノカ、配船ト運航ノ直營ニ當リマシテ如何ナル設備ヲ持ツノデアルカ、此ノ點ニ付キマシテ御所見ヲ拜聴致シタイト思ヒマス

○小野(逓)政府委員 最前カラ角サン

ノ御話ヲ承ツテ居リマス、此ノ非常ノ際ニ船員ノ運賃ヲヤルノハ、先程ノ船員ノ問題ト同ジク國ガ自ラヤツタ方ガ宜イデハナイカ、國ガ自ラヤツタ方カラ運賃會ト云フ中間ノ機關ヲシテヤラセルト云フコトニナツテ居ルノデハナイカ、又運賃會デ一手ニヤルト云フコトニナレバ如何ナル準備ガアルカ、斯様ナ御尋ネデアリマスガ、時局ハ非常ナ急調ヲ呈シマシテ、運賃會ヲ拵ヘタ時ニハ、アノ運賃會デ所謂運航實務者ヲ自分ノ手足ニ置イテ——所謂運航實務者ト云フノ御承知ノヤウニ船會社デ、營利會社ノ機構デアリマスガ、ソレヲ自分ノ下部組織トシテヤリ得ルモノ、斯様ナ構想ノ下ニ運賃會ガ出來タノデアリマスガ、時局ノ進展ニ依ツテドウシテモ船員ノ運賃ニ付テハ公ノ性格ヲ持ツタモノデ、之ヲ運賃シナケレバナラス、私ノ企業ニ委セテ置イテハナラナイ、斯様ナコトガハツキリ分ツタノデアリマス、是ハ角サンノ御話ノヤウニ、國ガ自ラヤツタ方ガ宜イデハナイカト云フ風ナ考ヘニ落着クノカモ知レマセヌ、併シ又民間業者ノ經驗ヲ高度ニ利用スルト云フコトハ、是レ亦能率ノ點カラ閉却シ難イノデアリマス、ソレデ現在ニ於テハ國有ト云フヤウナコトハヤラナイ、運賃會ト云フ團體デ、ソレハ全部ト申シマスガ、殆ド大部分民間ノ知識經驗アル有能ナル人ヲ吸收シテヤツテ居ルノデアリマスガ、ソレニヤラセルトコトニナツタノデ

アリマス、然ラバ運航實務者ト運賃會トノ關係ハ、今ドウナツテ居ルカ、先程申上デマシタヤウニ、初メハ運航實務者ニ運航ノ全面的ノ權能ヲ持タシテヤル積リデアツタノデアリマスガ、時局ガ此ノヤウニ變化致シマシタト同時ニ、自然運賃會ニ運航ノ實力ガ移ツテ參ツタノデアリマス、或ハ船員ノ修繕デアリマス、最近ニ於テハ船員自體ノ身分モ運賃會デ之ヲ取上ゲル、運賃會ノモノトシテ働クト云フ情勢ニ立至ツテ居ルノデアリマス、昨日豫算總會ノ利用ノ度合ヒガ非常ニ稀薄ニナツテ居ルノデアリマス、現在ノ所船會社トシテ仕事ヲ致シマスル分量ハ船員保險ヲ付ケルト云フコト位シカ殘ツテ居ラナイ、サウ云フ事態デアリマス、運賃會ニ運航實務者ヲ吸收シ、眞ニ一元的ニ、配船ハ勿論、運航モ全部委シタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ風ニ大臣ガハツキリ其ノ態度ヲ表明シタヤウナ次第デアリマス、斯様ナ譯デアリマス、運賃會ノ機構ト致シマシテモ、運航實務者ヲ只今吸收致シマシテモ、ソレダケ龐大ナ機構ヲ要セナイノデアリマス、昨日モ豫算總會ニ於テ委員カラ、運賃會ノ現在ノ程度デ行ケルデハナイカ、運航實務者ヲ吸收シテモ何モ人ヲ殖ヤサヌデモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御質問ガアリマスガ、何モ殖ヤサヌデモ宜イト云フヤウナコトデアリマセヌ、相當人モ殖ヤシ、又支店業務モ運賃會ニ於キマシテ合流致スコトニ致シマスレバ、相當ノ人ヲ増サナケレバナリマセヌガ、特ニ今申上デタヤウナ特別大キナ機構、特別大キナ組織デ之ヲヤラナケレバヤリ得ナイト云フ事態デハナイノデアリマス、内部ノ機構

ヲドウスルカト云フ御質問デアリマス、只今之ヲ何々局ヲ設ケ、何々ヲ設ケルト云フ風ナ試案ガアルヤウデアリマス、併シ是ハマダ具體案トシテ發表スル所マデ行キマセヌガ、サシテ大キナ機構、大キナ組織ヲ以テ之ヲ吸收シ、運賃シナクテモヤリ得ル、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

○角委員 運賃會ガ直營スルニ當ツテ、

サウ今マデノ船會社ノヤウナ大キナ規模ハ要シナイノダト云フヤウナ意味ノヤウニ私ハ拜聴致シマシタ、尤モ規模ヲ大キクシタカラト云ツテモ船ノ運航率ハ向上スルモノデハアリマセヌ、之ヲ合理的ニ如何ニヤツテ行ケルカ、其ノ具體的ノ方策ト云フコトハ、唯徒ラニ規模ノ大ナルヲ以テスルモノデヤナイ、合理的ニ如何ニスレバ宜イカト云フ問題ニ歸着スルノデアルト思ヒマスガ、要ハ船員運賃會ヲシテ一元化ヲ圖ツタト云フ狙ヒ所ハ、船員ノ稼行率ノ向上ト云フ一點ニ私ハアラウト存ジマス、船員ノ稼行率ノ向上ト云フ一點カヲ作戰ト生産ニ寄與シヨウ、此ノ問題ニ歸スルノデアリマス、然ラバ稼行率ノ向上ト云フモノハ、此ノ目標ヲ達成スルノニハ貨物ノ増積ノ厲行、優秀船員ノ確保、船員ノ優遇問題、此ノ具體的ノ問題ガナケレバ船員ノ稼行率ノ向上ト云フコトハ私ハ期シ得ラナイノデハナイカト思フノデス、從來當局ニ於テモ御承知ノ通り、我が海運界ノ情勢ハ、露骨ニ申シマス、動脈硬化ノ症狀デアアル、私ハ機帆船ノ狀況ヲ最近或ル地方ヘ行ツテ見マシタガ、從來ハ五十「トン」位ノ船ヲ運ブノニ三人位ノ船員デ宜カッタ、所ガ五十「トン」ノ船ト云ヘバ積荷ガ百「トン」デアアル、此ノ百「トン」ノ荷ヲ積ンデ船ガ走ルノニ

三人位ノ少數ノ船員デ宜カッタ、現在一體ドウカト申シマス、十一人モ乗組ンデ居ル、兵隊サンガ六人、徵用サレタ者ガ七人、殆ド十一人カラ十三人モ乗組ンデ居ル、而モ百「トン」積メシカ積マナイ、少シ波ガ荒イト、其ノ港ハ出マスルガ、隣リノ港ヘ行ツテ待避シテ居ル、三人デヤル仕事ガ十何人モ掛ル、斯ウ云フヤウナ事柄ハ大型船ノ上ニ於テモヤハリ現ハレテ居ルノデアリマス、是ガ今日海運界ノ動脈硬化ノ症狀ヲ呈シタ大キナ原因デアリマス、此ノ事實此ノ症狀ヲ打開シ、船員稼行率ノ向上ヲ圖ルト云フ點ニ付キマシテハ、此ノ狙ヒ所ヲ一體ドウ考ヘテ居ルノカ、ソレニハ今申上デタ優秀船員ノ確保——大型船ノ乗組員ノ如キハ段々熟練シタ者ガ辭メテ居ルヤウナ傾向デアリマスガ、今日ノ場合デハ此ノ優秀船員ノ確保ト云フコトハ中々難カシイ、之ニ關聯致シマシテ、船員ノ優遇問題ト云フヤウナコトモ當然問題ニナルノデアリマスガ、此ノ問題ハ今上程サレテ居ル船員ノ生命保險問題位デハ中々解決出來ルモノデハナイ、廣イ意味ニ於テ、運賃會ニ於テハ、此ノ船員ノ優遇問題ヲドウ考ヘテ居ルノカ、此ノ點ニ付テ先ツ具體的ニ方策ガアレバ拜聴致シタイノデアリマス

更ニ時間ノ節約ヲ圖ル意味ニ於テ項

目ノ二御伺ヒ致シマスガ、船員稼行率ノ向上ト、此ノ問題ニ關聯致シマシテ港灣ノ荷役ノ増強ヲ如何ニ圖ルカト云フ點デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ船員運賃會ト從來ノ海運會社ガ最モ緊密ナ連絡ヲ講ジナケレバナラスト思ヒマスガ、其ノ具體策ハドウカ、更ニ倉庫統制會社ト緊密ナル關係ヲ如何

ニ將來圖ラウトスルノカ、此ノ點デアリマス

更ニ海運國家管理ガ斷行サレル當然

ノ歸着トシテ、是ハ實際問題トシテ考ヘナケレバナラスノハ、此ノ各海運會社トノ關係ハ將來ドウナルノカ、即チ運賃會ガ實務者制度ヲ廢止スル結果ト致シマシテ、港々ノ各現場ノ末端事務マデ直接處理シナケレバナラナクナルノデアリマスガ、此ノ各港ニハソレハ船會社ノ設備ナリ機構ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ設備ト機構ヲ利用シナケレバ、恐ラク實際問題トシテ現場ノ末端事務ヲ直接處理スルコトハ出來ナイト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ於テ從來ノ船會社ト運賃會トノ關係ハドウナルノカ、即チ海運會社ノ設備ト機構ヲ利用スルノニ、或ハ補償方法ヲ執ルノカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ當局ノ御所見ヲ拜聴致シタイト思ヒマス

○小野(逓)政府委員 第一ノ點ハ、船

員ニ對シテドウ云フ優遇方策ヲ具體的ニ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ運賃會自身ト致シマシテモ、又ソレ以上ニ政府トシテ考ヘナケレバナラナイ問題デアリマス、只今實行ニ着手シテ居リマス船員待遇官吏ノ問題モ、此ノ優遇問題カラ發足致シタノデアリマス、船員ノ中カラ勅任ノ官吏モ出ル、斯ウ云フコトハ、會テ「イギリ

テ、是レ以上優遇ノ途ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマス、其ノ他毎日ノ直接ノ問題ト致シマシテハ、昨日モ非常ニ非難御叱リヲ受ケタノデアリマスルガ、船員ノ服裝デアリマスルカ、甚ダ菲薄ノ程度デアリ、斯様ナコトニ政府ハ萬般ノ努力ヲシナケレバイカヌ、斯様ナ説ガ出タノデアリマスルガ、全ク同感デアリマシテ、從來トモヤツテ居リマスルガ、今後トモ特ニ船員ノ被服、例ヘバ服デアリマスルカ、帽子デアリマスルカ、サウ云フ日常現在得難イモノハ、特ニ軍需省デモ特別ノ梓トシテヤツテヤラウ、斯ウ云フ御話モアリマシタノデ、日常ノ生活上ノ安定ヲサセルト云フコトガ、最も必要ナコトデアルト思ヒマス、金錢上ノ問題デハナイト云フコトモ申シマスルガ、又此ノ俸給給與等ニ付キマシテ考慮スルコトモ、是レ亦私共トシテハ是非考究致サナケレバナラナイノデアリマシテ、此ノ點モ待遇官吏ノ問題ト併セテ、船員ノ給與ヲ増スヤウニ努力致シテ居ルノデアリマス、最前モ御話ガアリマシタガ、船員ガ非常ニ多過ギル、一ツノ船ヘ三人デ行ク所ヲ、相當多數ガ現在乗ツテ居ルト申シマスルガ、是ハ私ハ此ノ外海ヲ歩キ、相當危險ナ區域ヲ歩ク方面デハ、軍隊等ノ乗船ガアリマシテ、是等ノ護衛防護ヲヤツテ居リマスルノデ、相當ノ人數ガ乗ツテ居ルト思ヒマスルガ、此ノ船員ノ方ノミカラ見マス、非常ニ勞苦ガ多イノデアリマシテ、或ルベクナラバ此ノ船内ノ仕事ハ多數デヤツタ方ガ、勞苦ヲ擔フ點ニ於テハ宜シイ、現在ハサウ云フ贅澤ガ言ヘナイ、船員ノ數ガ非常ニ少クナリマシテ、船員一人々々ノ勞苦ノ狀況

ハ、從來ノ船員ノ比デナイノデアリマス、此ノ點モ何トカシテ考ヘナキヤナラヌト、私ハ切ニ考ヘテ居リマスルガ、船員ノ待遇問題ニ付キマシテハ、ドウゾ皆サシモ御同情ヲ下サイマシテ——總理大臣モ施政演説ノ劈頭ニ、船員ノ勞苦ヲ感謝スルト云フコトモ申サレテ居ツタノデアリマスルガ、恐ラク今角アヲウト思フノデアリマス、私共ハ今ノ御言葉ノ趣意ト全ク同感ノ意ヲ表シマシテ、今後トモ船員ノ待遇ニ付テハ飽クマデ努力ヲ致ス覺悟デアリマス、ソレカラ運賃會社港灣ノ會社トノ關係ヲ、モウ少シ密接ニシナケレバイカヌデヤナイカ、ソレデナイト運賃會社ガ上ラナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是レ亦全ク同感デアリマス、現在運賃會社モ、其ノ力ノ足ラナイ所、又各船會社、官廳トノ方面トノ緊密化ニ付キマシテ努力ノ足ラナイ所ガアツタノデハナカラウカト私ハ考ヘマス、デ私著任以來、角サシノ御話ト全ク同ジコトヲ申シテ、港灣ニ於キマシテハ、港灣法ト云フモノハナクナツタケレドモ、是ハオ互ヒノ力デ、例ヘバ私ノ方ノ海運局ト云フモノト運賃會社ソレカラ港灣會社、倉庫會社、是等ノモノガ全ク一ツニナツタ氣持デヤラウデヤナイカ、港灣法ノ出ルコトハ勿論必要デアリマセウガ、是ガ出ナクナツタ以上ハ、之ニ代ルモノトシテハ、オ互ヒノ努力ニ俟ツ外ナイ、ソレデ此ノ港灣法ノ出ナクツタコトニ依リ運賃會社能率ノ上ラナイコトハ、オ互ヒノ協力デ行カウデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、特ニ港灣問題ガ起ルト問題ニナルノハ大阪デアリマス、私最近大阪ニハ四、五日前特ニ參リマシテ、角サ

ソノ御話ノヤウナコトヲ申シテ、港灣業者ト運賃會社其ノ他ノ關係官廳ト云フモノノ緊密化ヲ圖ルヤウニ、努力ヲ致シテ參ツタノデアリマス、尙ホ次ノ點デアリマスルガ、港灣會社等ノ合同其ノ他ニ付キマシテモ、是ハ必ズシモ法律ヲ要シナイモノデアリマスルノデ、此ノ港灣會社ト統一ニ關シマシテハ、今後トモ一層努力致シマシテ、或ハ近イ内ニ其ノ實現ヲ見ルモノガ相當アルト、斯ウ思ツテ居リマス、此ノ點ハ全ク角サシノ御話ト同ジク致スノデアリマス、要ハ此ノ運賃會社ノ向上ニアルノデアリマシテ、是ハ唯サウ云フコトヲヤリ、港灣會社ヲ密接ニスルカ、運賃會社ノ一元化ヲ圖ルカ云フモノハ、一ニ此ノ各船會社ノ運賃會社ヲ上ゲルコトガ目標デアリマスルカ、此ノ目標ニ向ツテ凡ユル施策ヲ講ジテ參リタイト考ヘルノデアリマス

○角委員 私最後ニ御伺ヒ致シタ船會社トノ關係ヲ伺ヒタイ

○有田政府委員 船員ノ優遇問題ニ付キマシテハ、先程海運總局長官カラ申上デマシタヤウニ、物心兩面ヨリ色々ト政府トシテノ施策ヲ講ジテ居リマスルガ、其ノ給與ノ面デ一ツ具體案ヲ御披露シテ置キマス、船員ノ方ハ只今ノ通り非常ニ改善サレ改正サレツ、アルノデアリマスガ、丁度待遇官吏案ガ、本二十五日カラ施行セラレルコトナリマシタ、ソレト同時ニ今回船員ノ給與ト云フモノヲ可及ノ統一スルト同時ニ、相當改善ヲ加ヘタノデアリマス、一應内容ヲ見テミマス、高級船員ト普通船員ニ分レマスルガ、高級船員ニ付キマシテハ、給料ノ本給ノ點ニ於キマシテハ、從來ノ五、六「パーセント」程度ノ増ニ過ギナイノデアリマスル

ガ、臨時乗船手當ト云フモノガ、從來ハ給料ノ一〇%ニ過ギナカッタノヲ、今回ハ之ヲ六五%ニ増率致シタノデアリマス、大體把ニ見テ高級船員ニ於キマシテハ、大體從來ノ收入ノ三十三、四「パーセント」程度増額致スコトニ相成ツタノデアリマス、又普通船員ニ付キマシテハ、基本給デアリ給與ニ付キマシテハ、從來ヨリ十六、七「パーセント」ノ増ニ過ギナイノデアリマスガ、臨時乗船手當ト致シマシテ、從來ハ給料ノ一〇%ニ過ギナカッタモノヲ六五%ニ増率致シタノデアリマス、其ノ他手當等相當ノ増額ガアリマシテ、普通船員ニ於テハ從來ノ收入ノ五十二、三「パーセント」程度ノ増加ニ相成ツタノデアリマス、相當劃期的ナ給與ノ改善ヲ今日カラ見ルコトニナツタノデ、茲ニ御披露申上ゲル次第デアリマス、尙ホ言ヒ殘シマシタガ高級船員ノ中デ、船長ハ、先程普通ノ高級船員ノ臨時乗船手當ヲ六五%ニ増額致シタト言ヒマシタガ、其ノ内船長ハ八〇%ニナツテ居ルノデアリマス、一言御披露致シマス、尙ホ從來ノ船會社ト港灣施設ヲ運賃會社ニ於テ吸收スルカト云フコトデアリマスガ、運賃會社ニ於キマシテハ、施設共ニ吸收スルコトヲ原則ト致シテ居リマス

○角委員 能ク分リマシタ、是デ私ノ質問ハ終了致シマス

○村松委員長 富田愛次郎君

○富田委員 苛烈ナ職局ノ下、船員優遇ノ方法トシテ本船員保險法ガ提案サレタコトハ洵ニ結構デアリマスガ、又其ノ時ノ遅カリシヲ憾ム感ガアルノデアリマス、私ハ此ノ保險制度ニ付キマシテ四、五ノ點ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、其ノ第一ハ社會保險ガ段々

ト發展シテ參リマシテ、隨テ國家ノ財政負擔モ段々増大ヲ來シマス、殊ニ年金制度ガ出來マシテ段々ト發展致シテ參リマシタニ付キマシテハ、當局ニ方針トシテ御伺ヒシテ置キタイノハ、現在ニ於テ社會保險制度ニ付テハ、大體ドウ云フ計畫ノ下ニ如何ナル企畫ガアルノデアリマスカ、或ハ現在ノ所ハ今ノ程度ノ社會保險ヲ満足シテ居ルト見テ居ラレルノデアリマスカ、此ノ點ハ國ノ財政ト睨ミ合セマシテ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマスカラ、當局ノ是等ノ社會保險全般ニ對スル方向、企畫ニ付テ御伺ヒ致シタイ

○伊藤總政府委員 社會保險ノ制度モ御承知ノ通り段々發展シテ參リマシテ、一應ノ社會保險ノ體系ト申シマス、出來上ツテ參ツタ譯デアリマス、諸外國ノ立法例ト比較シテ我が國ノ社會保險デ現在缺ケテ居ルモノト申シマスレバ、失業保險制度デグダト申シテモ宜イト思ヒマス、他ノ制度ハ概シテ完備致シテ居リマス、失業保險ニ付テハ政府ノ方デ何等ヘテ居リマセウガ、其ノ必要モ感ズテ居ラナイノデアリマス、新シイ新種ノ保險制度ニ付テハ、今ノ所別段考ヘテ居ル點ハゴザイマセウ、今後國家情勢、社會情勢ノ變遷ニ應ジマシテ、或ハ新規ナ社會保險ヲ考ヘナケレバナラヌ時代ガアルカモ知レマセウガ、今日ノ所具體的ニ考ヘテ居ルモノハゴザイマセウ

○富田委員 只今同僚君カラ御尋ネノ點モアリマシタガ、私ハ重ネテ意見ヲ申述ベテ置キタイノデアリマス、前ニモ申シマシタヤウニ、我が國ノ社會保險制度ト云フモノハ、只今保險局長ガ御述ベニナリマシタヤウニ、漸次完成ノ域ニ參ツテ居ルノデアリマス、我

ガ國ノ社會保險制度ニ於キマシテモ、健康保險其ノ他、漸次社會保險ガ發展シテ參リマシタガ、其ノ資金ナリ保險制度ニ致シマシテモ、皆別々ト相成ツテ居リマス、是ハ行政上財政上ヨリ見マシテモ、又被保險者側ノ利便ノ點カラ見マシテモ、國家トシテハ一社會保險制度トシテ運営スルコトガ私ハ絕對ニ必要ダト思ヒマス、先般大臣ハ研究中デアリ、意見トシテハ同意見ダト云フコトデアリマスガ、外國ノ立法例トシテモ相當其ノ制度ヲ採ツテ居ル所ガアルノデアリマス、又我が國ト致シマシテモ清水玄博士ノ如キハ、學者トシテモ其ノ論ヲ申述ベテ居ラレルノデアリマシテ、此ノ點ハ御調査ニナレバ分リマスガ、段々ト保險制度ガ複雑ニナリ、國家負擔モ年金制度等ニ依ツテ龐大ナモノニ段々ナツテ居ルノデアリマスカラ、是非ハ一本建ノ社會保險制度ニシテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマシテ、御願ヒヲ致シテ置キマス

次ニハ官吏ノ恩給制度デアリマスガ、之ヲ段々社會保險化スベシト云フ意見ガ相當ニアルノデアリマス、之ニ付テハ當局ニ何等カノ準備ナリ方針ガアリマシタナラバ承リタイト思ヒマス

○伊藤(議)政府委員 官吏ノ恩給ノミナラズ、總テ社會保險ヲ一本ニ纏メタラドウカ、或ハ現在ヤツテ居リマセヌ農民トカ商人トカ、斯ウ云フモノマデ引括メテ、官吏モ何モ彼モ、國民全體ヲ引括メテ年金制度ト云フモノヲ拵ヘタラドウカト云フヤウナ意見モ、聞カヌデハゴザイマセヌケレドモ、ソレゾレ恩給法ニハ恩給法ノ沿革モアリ、又給與ノ條件モ違ツテ居リマシ、國民全體ノ勤勞態度ナリ、情勢モ違ツテ居リマスノデ、之ヲ一ツニ纏メタ大キ

ナ年金制度ヲ拵ヘルト云フコトハ、相當大規模ナ事業デゴザイマスノデ、研究ニ値ヒスル問題デアリマスルコトハ萬々承知致シテ居リマス、併シ今日具體的ニ此處デ御披露申上ゲル研究ニマデ進ンデ居ナイコトハ勿論ノコトデアリマスガ、十分研究ヲ進メテ參リタイト思ヒマス

○富田委員 十分研究ヲ願ヒタイトデアリマス、次ニハ各省ニ存在致シマスル所ノ共濟制度デアリマス、各省ニハ大體共濟制度ト云フモノガ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ共濟組合ガ各省別ニ區々ニナツテ居ルト云フコトハ、無駄ガ多クテ、又給付等ニ付キマシテモ區々ニ瓦ツテ居リマスコトハ當局ノ御承知ノ通りデアリマス、此ノ各省ニ存在シテ居ルモノヲ、或ハ社會保險ニスルコトモ一ツノ方法ダト存ジマシガ、之ヲ統一一致シマシテ一ツノ制度トシテ、之ヲ厚生省ニ統一サレルヤウナ御考ヘアリマセヌカ

○中井川政府委員 只今御述ベノコトハ、單リ厚生省ノ關係デナク各省ニ互ルコトデゴザイマシテ、之ヲ統一シ、一本ニスル考ヘハナイカト云フ御意見デアリマスルガ、今申上ゲタヤウニ、各省ニ互ルコトデアリマスルノデ、御意見ノアル所ハ之ヲ拜聴致シマシテ、政府部内ノ研究ノ對象トスルヤウニ致シタイト思ヒマス

○富田委員 海上輸送ニ挺身致シテ居リマス船員ニ對シマシテハ、先般豫算ノ會議ニ於キマシテモ、本委員會ニ於キマシテモ、段々感謝ノ意ヲ表セラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ提案ハ洵ニ結構デアリマスガ、本改正法並ニ一般ノ産業ニ挺身シテ居リマス勤勞者ニ對スル健康保險、其ノ他ノ社會保險ニ

致シマシテモ、何ト申シマシテモ今日ハ物價ガ實質的ニ飛躍的ノ騰貴ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、今日ノ物價ノ趨勢ニ於テ、今日ノ如キ社會保險ノ給付ヲ以テマシテハ、未ダ足レリトセズ、給付ノ餘程増サナケレバ、社會保險ノ目的タル生活ノ安定ヲ期スルコトハ困難ダト思ヒマス、併シナガラ一面ニ於テハ國家ノ負擔、事業船主ノ負擔、又勤勞者ノ負擔等モ考慮ニ入レナケレバナリマセヌカラ、是等ニ付テハ十分ナル考慮ヲ要スルノデアリマスケレドモ、何ニ致シマシテモ現在ノ物價騰貴ノ趨勢ト云フモノハ、御承知ノ通りデアリマスカラ、私ハ今少シク飛躍的ナ考ヘデ以テ、社會保險ノ給付ヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、尤モ此ノ船員保險ニ付キマシテハ多少良クナツタ、併シマダ大分特別ナ種類ノ保險ナンカモ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ程度デ以テ足レリトセラレルヤ、其ノ邊ノ御考慮如何ニナツテ居リマスカ御伺ヒ致シマス

○伊藤(議)政府委員 保險給付ノ基準ニナリマスモノハ、御承知ノヤウニ標準報酬ヲ基準ニシテ、各種ノ保險給付ニナス譯デアリマスガ、今日ノ物價ノ趨勢、生活費ノ昂騰等ニ鑑ミマシテ、從來ノ船員保險デハ標準報酬ノ最高限ヲ千八百圓ニ抑ヘテ居リマシテ、之ヲ基準ニシテ保險給付ヲスル、ソレ以上ノモノニハ給付ヲシナイコトニナツテ居ツタノデアリマス、然ルニ只今御述ベニナツタ御意見ノ下ニ、此ノ最高制限ヲ三千圓ニ一躍千二百圓引上ゲマシテ、此ノ三千圓ノ範圍内ニ於テ、之ヲ基準ニシテ保險給付ヲスルト云フコトニナリマス、ソコデ年金ニ致シマシテモ一時金ニ致シマシテモ、相

當從來ニ比ベテ給付額ガ多ク相成ルノデアリマス、今日ノ情勢カラ申上ゲマシレバ、此ノ最高限三千圓ト云フノハ、社會保險トシテハ先ヅ手一パイノ所デアリカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○富田委員 一般社會保險、殊ニ此ノ船員保險ヲ無論含ンデ居ルノデアリマスガ、從來是ハ何處ノ國デモデスガ、社會保險ト云フモノハ手續ガ非常ニ煩瑣千萬デアリマス、今日ノ如キ此ノ決戰狀態ノ下ニ於テハ人手モ少クナリマシテ、紙等モ甚ダ窮屈ニ相成ツテ居ル場合デアリマスカラ、保險手續ト云フモノハ實質ニ影響ノナイ限り、出來ルダケ之ヲ簡約ニスルコトガ緊要デアリコトハ申サマデモノナイノデアリマス、此ノ社會保險ノ性質上、或ル程度ノ手續ハ無論必要デアリマスカラ、是非必要ナ、保險ノ運営上ナクテハナラヌト云フヤウナモノハ是ハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、サウデナイモノハ是ハ内閣ノ屬、ノ聲明モアル通りニ、出來ルダケ之ヲ簡約ニスルコト云フコトハ、當然要求サレルノデアリマス、就キマシテハ當局ハ此ノ立法ノ手段若シクハ行政ノ手心ニ依リマシテ、之ヲ出來ルダケ簡約ニサレタイト云フコトハ、是ハ醫者ノ側カラモ、又一般被保險者ノ工場ノ側カラモ、非常ニ熱烈ナ要求ノアルコトハ既ニ御承知ノ通りデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ當局トシテハ是等ノ社會的必要望ニ應ヘテ、既ニ多少ノ簡素化ガ行ハレテ居ルモノガアルヤウデアリマスカラ、ドノ程度ニ社會保險ノ手續ヲ簡素化シ、又將來是等ノ煩雜ナル手續ヲ簡素化スルコトニ付テ、ドウ云フ程度ノ簡素化ヲ考ヘテ居ラレルノデアルカ、伺ヒタイ

○伊藤(議)政府委員 社會保險、殊ニ疾病保險ニ關スルオ醫者サン側カラノ手續ノ簡素化ニ付テノ要望ハ非常ニ強イモノガアリマス、最近醫師側ノ方ニ於テ看護婦ハナシ、車夫モ居ナイシ、人手モ足りナイデ忙シクテ、其ノ上ニ社會保險ノ各種ノ手續ヲ執ラネバナラス、是ガ煩雜デ堪ラナイ、之ヲ何トカシテ簡素化シテ貰ヒタイト云フ非常ニ強イ御希望ガアリマシテ、洵ニ尤モナ次第デアリマス、我々トシテモ出來ルダケ是等ノ手續ヲ簡素化スル爲ニ、從來極力努メテ來タ譯デアリマス、御承知ノヤウニ數年來色々ノ社會保險ノ動向ガ、假ニ出來ナイト致シマシテモ、各社會保險ニ對スル手續同一ニシテ貰ヘナイカ、或ハ様式ヲ統一シテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ガアリマシタガ、其ノ點ニ付テハ關係各省ノ連絡協議會ヲ開キマシテ、様式ヲ單一化シテ、醫師側ノ手續ヲ簡素化スルコト云フヤウナコトヲ致シマシテ、又殊ニ昨年ノ九月カラ戰時特例トシテ、從來一番ヤカマシイ問題デアリマシタ診療報酬請求書ト云フモノヲ、極端ニ簡素化致シタノデアリマス、是ハ縣ノ社會保險事務ニ執掌シテ居ル者カラ申シマスレバ、コソナニ診療報酬請求書ヲ簡素化サレタノデハ、我々ノ監督事務ハ全然執レナイデハナイカト云フ非難ガ一面ニハアル位、徹底的ニ診療報酬請求書ノ様式ヲ簡素化致シマシテ、醫師ノ負擔ヲ輕減シタ譯デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ醫師會ノ側デ非常ニ喜バレマシテ、此ノ様式ノ簡素化ニ伴ツテ、醫師會側デハ非常ニ喜ブト共ニ、自ラノ責任ヲ感ジテ、今後社會保險ノ爲ニ協力シヨウト云フヤウナ力強イ言葉ヲ我々ハ受ケテ居ルヤウナ譯デアリマス、尙

養ヲ要スルヤウナ者ニ付テハ保養所ニ收容セシメル、其ノ保養所ヲ船員保險協會ヲシテ經營セシメ、其ノ費用ヲ負擔スル、其ノ外船員ニ對シマスル榮養劑ノ補給デアリマストカ、或ハ船員ニ

對スル特殊ノ病氣ノ豫防具ヲ配付致シマスルトカ、或ハ船員ノ激勵ノ催シヲスルトカ、斯ウ云フ風ナコトヲサシテ居リマス、將來此ノ福祉施設ニ付テハ最モ力ヲ注ギタイト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、或ハ不具發疾ノ船員ニ對シテ整形外科ニ入レテ職業能力ヲ恢復セシメルトカ、或ハ職業ノ輔導ヲ行フトカ、其ノ外各般ノ施設ヲ講ジテ行キタイト考ヘマス、其ノ財源ト致シマシテハ、豫算ニ計上スルモノノ外尙ホ今日デハ、先程申上ゲマシタ積立金ノ融通額ハ僅カ三十七萬圓ノ少額ニ止マツテ居リマス、是等ニ付キマシテモ十分今後積極的ニ施設ヲ進メテ參リタイト思ヒマス

○富田委員 二千七百萬圓ノ資金ニ對シテ福祉施設ノ協會貸付ガ三十七萬圓デ、直接ノ施設トシテ御使ヒニナツテ居ルノガ本年度ハ六十二萬圓デ、來年度ハ九十一萬圓デアリマス、此ノ相當大キナ資金ニ關シテ福祉施設ハ貧弱ナ感ガアリマス、船員保險ハ事故ノ起ツタ時ニ唯給付ダケヤレバ宜イト云フ譯デハナイノデアリマシテ、ヤハリ保險ト云フモノハ、動トモスレバ冷イモノデアリマスカラ、之ヲ溫カイ心持デ、被保險者ニ船員保險ノ有難味ヲ徹底シテ行クト云フコトハ、此ノ船員保險ニ謂フ福祉施設ノ運用ト云フコトニ依ツテ、船員保險ト云フモノガ溫カイ血ノ通ツタモノニナルト思フノデアリマス、隨テ其ノ血ノ通ツタモノニ依ツテ船員ノ福祉ヲ進メテ行クト云フコトガ、私ハ大事ナ施設デアルト考ヘマス、然ルニ只今ノ御話ニ依リマス、額ニ於テモ、又施設ニ於テモ、マア段々是カラヤラウト云フ御話デアリマスガ、併シ貧弱ノ感ガアルノデアリマス、是カラ

ハ私ノ希望ニナルノデアリマスガ、此ノ改正法ニ依ツテ船員ノ數モ段々殖エテ行キ、殊ニ時局下最モ重要ナ使命ト任務ヲ持ツテ居リマス船員ニ對スル福祉ノ施設デアリマスガ、給付ト云フモノハ最早法律ノ制限ヲ受ケテ、是レ以上ドウスル譯ニモ行キマセヌ、併シ本當ノ妙味ト云フモノハ、此ノ福祉施設ニ於テ初メテ其ノ妙味ヲ見ルノデアリマスカラ、社會保險ハ申スマデモナク、殊ニ此ノ年金制度ガ入ツテ居リマス以上ハ、此ノ資金ト云フモノハ、相當ナ計算ノ下ニシナケレバナラヌモノデアアルコトハ、是ハ申スマデモナイノデアリマス、ソレハ當然當局ノ算盤ニ出テ來ルモノト思フノデアリマスガ、恐ラク此ノ中ニハ其ノ算盤以外ニ、福祉施設トシテヤリ得ル算盤ガ相當彈キ出セル像デアリマシテ、是ハ當局ノ能ク御承知ノ點デアリマスガ、ドウカ此ノ資金ヲ一層運用サレテ、眞ニ船員保險ニ血ノ通ツタモノニシテ戴キタイト云フコトヲ私ハ御希望申上ゲマス

保險其ノモノニ付キマシテハ、私ノ質問ハ以上デアリマスガ、本法適用ノ上ニ於テ醫療ノ問題ニ付テ、此處ニ衛生局長ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、同時ニ少シ伺ツテ置キタイ、此ノ保險——マア社會保險一般、殊ニ船員保險ニシテモ然リデアリマスガ、病氣ハ型ハ出來タノデアリマスガ、病氣其ノ他ノ傷病ノ保險ノ給付ト云フコトハ、ドウシテモ醫師、醫藥ト云フモノノ普及ニ俟タナケレバ、其ノ目ノ達セヌコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、所ガ今日ノ決戦下ニ於キマシテハ、醫師ハ段々減ツテ參リ、醫藥ハ病氣シテモ藥ガナイト云フヤウナ、國民保健上

洵ニ憂慮スベキ狀態ニナツテ居ルコトハ、此處ニ衛生局長ガオイデニナリマシテ、私カラ申上ゲルマデモナイノデアリマス、ソコデ社會保險、殊ニ本船員保險ニ於キマシテモ、實質的ニ於テハ何トカ此ノ醫師ヲ出來ルダケ適當ニ按配シ、若シクハ、難シイコトデアアルケレドモ、何トカ醫師ヲ一人デモ多ク出スヤウナ方法ヲ講ジナケレバイカヌト思フノデアリマス、併シナガラ時局下減少シテ行ク醫師ノ増加ト云フコトニ付テドノヤウナ方策、又如何ナル對策ヲ持ツテ居ラレカ伺ヒタイ

○龜山政府委員 只今富田サンカラ御話ノ如ク、現下醫師ガ漸次減少致シテ居リマスコトハ洵ニ遺憾デアリマス、ソレニ付キマシテ御述べノアリマシタヤウニ、先ツ醫師ノ増加ヲ圖ル、之ニ付テハ醫育機關ノ増設デアリマス、目下ノ所相當ノ醫育機關ガ設立サレテ居リマスガ、今年度等モ男子醫專、女子醫專等ニ於キマシテ相當ノ設置ヲ見テ居リマス、ケレドモ是ハ何分四年先ノコトデアリマシテ、當面ノ問題トシテ、今我々ガ考ヘテ居リマスコトハ、先ヅ第一ハ齒科醫師ニ適當ナル醫學教育ヲ施シマシテ、之ヲ醫師トシテ診療ニ當ツテ實ツテハト云フ問題デアリマス、之ニ付キマシテハ目下研究中デアリマシテ、出來ルダケ速カニ成果ヲ得レバ實行致シタイト考ヘテ居リマス

今一ツノ方法ト致シマシテハ、醫師ノ増加及ビ今申上ゲマシタ醫師ノ適正配置ニ依ツテモ中々困難デアル場合ニハ、保健婦ノ多量養成ニ依リマシテ醫師ノ診療ノ介補トシテ、之ヲ一般ノ國民醫療ニ當ラシテハドウカ、斯ウ云フ考ヘヲ以チマシテ保健婦ノ大量養成ニ付キマシテ今計畫ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯先程御述べニナリマシタ醫師ノ不足及ビ醫藥品ノ不足ニ依リマシテ、國民醫療ノ問題、保健ノ問題ニ付テハ相當心配ヲ致シテ居リマスケレドモ、幸ヒニ一般ノ疾病ニ付テモ、傳染病ニ付キマシテモ、最近ハ減少ノ傾向ヲ示シ、又傳染病患者ニ致シマシテモ死者ハ減ツテ居リマス、唯結核患者ノ増加ハ稍、心配スベキ狀態デアリマスケレドモ、當局トシテハ出來ル限リノ措置ヲ講ジテ、國民保健ノ向上ヲ期シテ居ル次第デアリマス

○富田委員 醫師對策ニ付テハ私見ガアリマスガ差控ヘマス、唯只今政府委員ノ方カラ御答ヘガアツテ研究中ト云フコトデアリマスガ、研究中ト云フノハ每晚飛行機ガ飛ソデ來ル今ノヤウナ時ニハ餘リ役ニ立チマセヌ、本會議、豫算總會等ニ於テ段々述べラレテ居ル

ヤウニ、ヤルト云フ以上ハ調査ハ要リマセヌ、殊ニ今ノ醫師ノ問題ノ如キハ實ニ悲痛ナ狀態ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマスカラ、ドウカ早速御決定ニナツテ御實行ニナルコトヲ望ミマス、次ニ醫藥ノ問題デアリマスガ、是ガ又總テ物ガ段々少クナツテ行ク趨勢ニ伴フテ少クナルコトハ已ムヲ得ナイバカリデナク、軍部ノ需要カラ見テ當然デアリマスケレドモ、近來、殊ニ最近ニ於ケル醫藥品ノ缺乏ハ甚ダシク、私共實際自分デ病氣シタリ病院ニ入ツテモ、缺タベカラザル貴重藥ガ段々手ニ入ラヌト云フコトデアリマス、是ハ無論配給、其ノ他ノ原因ガアリマセウガ、何ヲ申シテモヤハリ根本ハ醫藥品ノ材料ノ減少デアルト認メラレマス、其ノ醫藥品ノ少クナル根本タル資材ハ、軍ノ要求ハ無論第一ニ充タサナケレバナリマセヌガ、民需トシテモ銃後ヲ護ツテ居ル國民ノ生命ニ關スル重大ナ問題デアリマスカラ、當局ノ御盡力ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ醫藥品ノ材料ニ付テ一般民需ト軍需トノ割合ハ、ト云ツテ別ニ詳シイ數字ヤ何カラ御聽キシタイ譯デハナイガ、ドンナ工合ニナツテ居リマセウカ

○龜山政府委員 醫藥品ノ缺乏ニ付テハ洵ニ御話ノ如ク遺憾デアリマシテ、厚生當局トシテモ懸命ノ努力ヲシテ是ガ生産確保ニ邁進シテ居ルノデアリマス、今御話ノアリマシタヤウニ、醫藥品ノ缺乏ノ原因ノ主タルモノハ、其ノ原料トスルモノガ多ク軍需品ト衝突スルカラデアリマス、是モ單ニ軍需ノ醫藥品トノ衝突デナク、軍需品トノ衝突デアリマシテ、決戦兵器等ノ製造ニ使ハレル原料ト醫藥品ノ原料トガブツカ

ツテ居リマス、其ノ結果ガ一ツ、イマ
一ツハ輸送其ノ他ノ關係等ニ依リマシ
テ、割當ガアツテモ現物ノ入手ガ思フ
ヤウニ參ラナイ、其ノ他種々ナル事情
ニ依リマシテ御話ノ如ク醫藥品ノ確保
ガ十分ニ出來マセコト、洵ニ恐縮ニ
存ジテ居リマス、今御尋ネノアリマシ
タ醫藥品ノ軍需ト民需ノ割合ハ、是ハ
一概ニ申シ兼ねマス、物ニ依ツテ或ル
モノハ軍需ガ八割ヲ占メ民需ガ二割、
又物ニ依ツテハ民需ガ八割デ軍需ガ二
割ト云フヤウナ工合デアツテ、藥品ノ
性質ニ依ツテ軍需民需ノ割合ハ違ツテ
居リマス、大體ノ所ハ御想像ノ付キマス
ヤウニ、軍需ノ方ガ民需ヨリモ、生藥
品ノ割合ガ多イト云フコトハ言ヒ得ル
ト思ヒマス、又御希望ニ依リマシテハ
藥品ニ付キマシテ、軍需民需ノ割合ヲ
申上ゲテモ結構デアリマス

○富田委員 私ハ此ノ戦局下波浪ト闘
ヒ、敵彈ノ下奮闘シツ、アル船員ニ對
シテハ厚ク感謝ノ意ヲ表シツ、此ノ質
問ヲ打切りタイト思ヒマスガ、最後ニ
大臣ガオ見エニナリマセヌガ、政務次
官ガオイデデアリマスノデスウ云フ時
期デアリマスカラ、施行ニハ相當ノ準
備ガ掛カルト思ヒマスガ、私ハ希望ト致
シマシテ出來ルダケ施行ノ準備ヲ急ガ
レマシテ、一日モ早く本法ノ施行ヲ致
サレシコトヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ
打切りマス

○清水(留)委員 關聯セル問題デ、丁
度衛生局長ガオイデデアリマスカラ成
ベク簡單ニ御質問致シマス、只今衛生局
長ノ答辯ニ於テ醫師ガ足ラヌ、ソレニ
付テ齒科醫師ヲシテ或ル程度ノ教育ヲ
與ヘテ醫師ヲシテ或ル程度ニ付テ、御
考究セラレルト云フコトデアリマシタ
ガ、更ニ藥劑師ヲシテ一年ナリ二年ナ

リノ教育ヲ與ヘテ、之ヲ醫師ヲシム
ルコトニ付テ何カ考ヘテ居リマスカ、
更ニ今一ツハ昔濟生學舎ノアツタ當時
ノコト、所謂低級ト申シテハ言葉ガ當
ラヌカモ知レマセヌガ、今日ノヤウナ
專門學校程度以上デナク、寧ロ或ル程
度ノ學力、教育ヲ與ヘテ之ヲ無醫村其
ノ他ニ於テ限地開業ヲセシムル制度ニ
付テ御考ヘニナツテ居リマスカ、先ヅ
此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○龜山政府委員 只今清水サンカラ仰
セノアリマシタ藥劑師ニ對シテ適當ナ
教育ヲ與ヘテ、醫師トシテ其ノ補充ニ
充テ、ハドウカ、之ニ付テ考ヘテ居ル
カト云フコトデアリマスカ、一應ハ考
ヘテ見タノデアリマス、先ヅ私共ト致
シマシテハ齒科醫師ヲ先程申上ゲタ方
法ニ依ツテヤル方ガ先決問題デアル、
又ソレニ依リ方ガ寧ロ良イ案デハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
ト申シマスノハ齒科醫師、醫科教育ハ
一年、二年、大體同様ノ學課ヲ習得シ
テ居リマス、隨テアトハ實地其ノ他特
別ノ、醫師トシテ必要ナ教育ヲスレバ
醫師トナリ得ルヤウナ教育ノ狀態デア
リマス、然ルニ藥劑師ニ於テハ是等ト
稍、趣キヲ異ニ致シテ居リマスカラ、藥
劑師ニ適當ナ教育ヲ與ヘテ醫師トスル
案ニ付テハ、目下ノ所ハ之ヲ採ラザル
積リデ居リマス、次ニ現在ノ醫育機關
ヨリ低級ト申シマスト語弊ガアリマス
ガ、年限ノ少イ、往年ノ濟生學舎、所
謂醫育機關ノ卒業者ヲ限地開業、或ハ
限科開業トスル積リハナイカト云フ御
話デアリマスカ、目下ノ所醫育機關ノ
中デ、是ヨリ下ノ機關ト云フモノハ殆
ドゴザイマセヌ、或ハ昔ノサウ云フヤ
ウナ醫育機關ノ人、或ハ所謂醫師ノ代
診トシテ相當經驗ヲ積ンダ人、サウ云

フ人ヲ代診的ニ限地開業ヲ考ヘルト云
フヤウナコトハ研究致シテ居リマスカ
レドモ、此ノ問題ニ付キマシテハ中々
色々ノ問題ガアリマス、隨ヒマシテ目
下ノ所ハ此ノ案ハ採用セヌ方ガ宜イノ
デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○清水委員 齒科醫師ヲ醫師ヲシム
ルコトニ付テハ、是ハ無論異論ハアリ
マセヌ、唯ソレデケデ今ノ醫者ノ數ガ
十分間ニ合フカドウカ、之ヲ私懸念シ
テ居ルノデアリマス、餘リニ醫師ノ數
ガ少イ、丁度保健婦ヲ新シク作ル程度
ニ於キマシテ、或ハ低級ト申スカドウ
カ知リマセヌガ、低イ中學校程度ノ學
校ヲ新シク作ツテ、是等ノモノニ或ル
程度ノ保健婦ノヤウナ、寧ロソレヨリ
少シ進シテ醫學教育ヲ與ヘテ、之ヲ限
地開業セシムル、或ハ藥劑師ノ問題モ
素人ヲ新シク醫師ニスルヨリハ、寧ロ
藥劑師ヲスル方ガ近道デアル、故ニ齒
科醫師デケデ濟ムナラバ宜シイ、是デ
ハ到底私共足ラヌト思ヒマス、其ノ場
合ニ於テ今カラ考慮シテ、或ハ藥劑師
ニ付テ考ヘルナリ、或ハ中學校程度ノ醫
學校ヲ作ラセルナリシテ、此ノ補充ノ
策ヲ講ズル必要ハナイカ、殊ニ大東亞
圈內ニ於テ今後醫師ノ需要ハ非常ニ殖
エテ參リマス、是等ニ向ツテ從來賣藥
ヲ賣ツテ醫療セシムルヨリハ幾ラカマ
シダト云フ廣イ見地カラ、是ハ厚生省
トシテ當然私共考フベキ問題デラウト
思ヒマスガ、唯早急ノ問題ハ齒科醫師
ノ問題デアリマシテ、齒科醫師ノ問題
ダケデ足ラヌ場合ニ於テ、其ノ補充策
トシテ今カラ十分御考究ヲ願ヒタイト
思ツテ居リマス

更ニ藥ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シタイ
ノデスガ、先程衛生局長ノ言ツタ通り
如何ニモ藥ハ足りマセヌ、殊ニ軍ノ關係
ニ於テ他ノ方面ニ藥ノ原料ガ使用サレ
ル程度ガ段々殖エテ參リマシタ、例ヘ
バ「アルバジル」ニスル所ノ藥ノ一部
ガ軍ノ樞要ナル方面ニ廻ハサレル爲
メ、ア、云フ風ナ必要ナ藥モ出來ナ
イ、「アルコール」ヲ使用スル所ノ藥ノ
如キハ九月カラ一滴ノ配給モナイ、是
等モ外ノ方面ニ於テ使ハナケレバナリ
マセヌ、サウ云フヤウニ藥ノ原料ハ段
段減ツテ參リマス、殊ニ軍需ニ要スル
藥ガ益、殖エテ參リマシタ、ガカラ民
需ノ藥、原料ガ減ルト云フコトハ、是
ハ如何ニシテモ避ケベカラザル問題デ
アルト思ヒマス、此ノ場合私ガ政府ニ
要望致シテ置キタイノハ、自家用藥園
ノ問題デアリマス、詰リ段々化學的ノ
藥ハ他ノ方面ニ使ハレル場合ガ多イノ
デアリマスカラ、此ノ原料ヲ得ルト云
フコトハ困難デゴザイマセウ、併シ今
日斯ウ云フ場合ニナリマスト、昔ノ草
根木皮、或ハ漢法醫ノ使フヤウナ藥
斯ウ云フ風ナモノヲ餘計使用シテ、サ
ウシテ一時ノ急ニ間ニ合ハセル必要ハ
ナイカ、ソレニ付テハ、現在ノ程度デ
ハ中々藥園ト云フモノヲ擴張スルコト
ハ出來マセヌ、其ノ禍ヒヲナクシテ居
ルノハ供出制度デアリマス、自分ガ新
シク藥園ヲ作り、サウシテ自分ノ藥ノ
方ニ其ノ原料ヲ使ヒタイト思ヒマスル
ガ、其ノ大部分ハ供出シナケレバナラ
ヌ、其ノ爲ニ折角自分ガ苦心シテ作ツ
タモノガ使用出來ナイ、之ニ付テ藥業
者ハ今非常ニ頭痛メテ居ルノデアリ
マス、之ニ付テハ無論其ノ或ル部分ハ
供出シナケレバナリマセヌ、ケレドモ
自家用ニ付テ、何割ト云フモノハ確實
ニ其ノ作ル者ニ使用セシムルト云フ規
定ヲ設ケテハドウカ、現在ノ程度ニ於
テハドノ程度ニナツテ居ルカ、所謂藥

屋自身が作ツタ藥ノ原料ハ、自家用ト
シテ何割使用出來ルカト云フ此ノ原則
ガ決マツテ居リマスカ、或ハ聞ク所ニ
依リマスト、八割以上ハ供出シナケ
レバナラヌト云フ風ノコトモ聞イテ居
リマスカ、是ハ事實デアルカ、少
クトモ私共ハ其ノ半分位ハ自家用ニ使
ハシムルト云フ風ノ規定ヲ設クルナラ
バ、是ハ相當藥ノ原料ハ出來ルト思ツ
テ居リマス、殊ニ最近大分藥業者ノ間
ニ問題ニナツテ居ルノハ、御承知ノ通
リ砂糖ガアリマセヌ、砂糖ノ配給ハ段
段少クナツテ來ル、是ニ於テ藥業者ガ
今計畫シテ居ルノハ、北海道其ノ他ニ
菊芋ヲ作り、是カラ糖分ヲ採リ、之ヲ
藥ニ廻ハシタイト云フ風ノコトヲヤツ
テ居リマスカ、併シ菊芋カラ採ツタ
所ノ砂糖モ大部分他ノ方ニ廻ハサナケ
レバナラヌ、自分デ一體ドレデケ使用
出來ルカ、殆ド碌ニ使用出來ナイト云
フ風ノ狀態デアリマスカ、此ノ爲ニ
其ノ原料ノ栽培スラモ出來ヌト云フ狀
態デアリマス、故ニ斯ウ云フ點ニ於キ
マシテ其ノ自家用ノ藥トナリ、或ハ藥
ノ原料トナルベキ所ノ砂糖ナリ、種々
ノモノヲ作ツタ場合ニハ、ドレデケ自
家用ニ使ヘルカト云フ確乎タル方針ガ
決マツテ居リマスカドウカ、此ノ點ニ
付テ當局ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○龜山政府委員 今御話ノアリマシ
タ如ク現在ノ醫藥品ノ缺乏狀態カラ、
之ヲ所謂生藥、漢藥、藥草ニ依ルト
云フコトハ至ク御同感デアリマス、
從來餘リニ醫藥品ガ化學藥品ニ依存
シ過ギマシタコトガ、今日ノ缺乏ノ
一ツノ原因デアルコトニ思ヒヲ致シ
マスレバ、此ノ生藥ニ依ルト云フコ
トハ洵ニ私ハ御同感デアリマシテ、
此ノ點ニ付キマシテハ厚生省ニ於キマ

ニ於テ他ノ方面ニ藥ノ原料ガ使用サレ
ル程度ガ段々殖エテ參リマシタ、例ヘ
バ「アルバジル」ニスル所ノ藥ノ一部
ガ軍ノ樞要ナル方面ニ廻ハサレル爲
メ、ア、云フ風ナ必要ナ藥モ出來ナ
イ、「アルコール」ヲ使用スル所ノ藥ノ
如キハ九月カラ一滴ノ配給モナイ、是
等モ外ノ方面ニ於テ使ハナケレバナリ
マセヌ、サウ云フヤウニ藥ノ原料ハ段
段減ツテ參リマス、殊ニ軍需ニ要スル
藥ガ益、殖エテ參リマシタ、ガカラ民
需ノ藥、原料ガ減ルト云フコトハ、是
ハ如何ニシテモ避ケベカラザル問題デ
アルト思ヒマス、此ノ場合私ガ政府ニ
要望致シテ置キタイノハ、自家用藥園
ノ問題デアリマス、詰リ段々化學的ノ
藥ハ他ノ方面ニ使ハレル場合ガ多イノ
デアリマスカラ、此ノ原料ヲ得ルト云
フコトハ困難デゴザイマセウ、併シ今
日斯ウ云フ場合ニナリマスト、昔ノ草
根木皮、或ハ漢法醫ノ使フヤウナ藥
斯ウ云フ風ナモノヲ餘計使用シテ、サ
ウシテ一時ノ急ニ間ニ合ハセル必要ハ
ナイカ、ソレニ付テハ、現在ノ程度デ
ハ中々藥園ト云フモノヲ擴張スルコト
ハ出來マセヌ、其ノ禍ヒヲナクシテ居
ルノハ供出制度デアリマス、自分ガ新
シク藥園ヲ作り、サウシテ自分ノ藥ノ
方ニ其ノ原料ヲ使ヒタイト思ヒマスル
ガ、其ノ大部分ハ供出シナケレバナラ
ヌ、其ノ爲ニ折角自分ガ苦心シテ作ツ
タモノガ使用出來ナイ、之ニ付テ藥業
者ハ今非常ニ頭痛メテ居ルノデアリ
マス、之ニ付テハ無論其ノ或ル部分ハ
供出シナケレバナリマセヌ、ケレドモ
自家用ニ付テ、何割ト云フモノハ確實
ニ其ノ作ル者ニ使用セシムルト云フ規
定ヲ設ケテハドウカ、現在ノ程度ニ於
テハドノ程度ニナツテ居ルカ、所謂藥

屋自身が作ツタ藥ノ原料ハ、自家用ト
シテ何割使用出來ルカト云フ此ノ原則
ガ決マツテ居リマスカ、或ハ聞ク所ニ
依リマスト、八割以上ハ供出シナケ
レバナラヌト云フ風ノコトモ聞イテ居
リマスカ、是ハ事實デアルカ、少
クトモ私共ハ其ノ半分位ハ自家用ニ使
ハシムルト云フ風ノ規定ヲ設クルナラ
バ、是ハ相當藥ノ原料ハ出來ルト思ツ
テ居リマス、殊ニ最近大分藥業者ノ間
ニ問題ニナツテ居ルノハ、御承知ノ通
リ砂糖ガアリマセヌ、砂糖ノ配給ハ段
段少クナツテ來ル、是ニ於テ藥業者ガ
今計畫シテ居ルノハ、北海道其ノ他ニ
菊芋ヲ作り、是カラ糖分ヲ採リ、之ヲ
藥ニ廻ハシタイト云フ風ノコトヲヤツ
テ居リマスカ、併シ菊芋カラ採ツタ
所ノ砂糖モ大部分他ノ方ニ廻ハサナケ
レバナラヌ、自分デ一體ドレデケ使用
出來ルカ、殆ド碌ニ使用出來ナイト云
フ風ノ狀態デアリマスカ、此ノ爲ニ
其ノ原料ノ栽培スラモ出來ヌト云フ狀
態デアリマス、故ニ斯ウ云フ點ニ於キ
マシテ其ノ自家用ノ藥トナリ、或ハ藥
ノ原料トナルベキ所ノ砂糖ナリ、種々
ノモノヲ作ツタ場合ニハ、ドレデケ自
家用ニ使ヘルカト云フ確乎タル方針ガ
決マツテ居リマスカドウカ、此ノ點ニ
付テ當局ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○龜山政府委員 今御話ノアリマシ
タ如ク現在ノ醫藥品ノ缺乏狀態カラ、
之ヲ所謂生藥、漢藥、藥草ニ依ルト
云フコトハ至ク御同感デアリマス、
從來餘リニ醫藥品ガ化學藥品ニ依存
シ過ギマシタコトガ、今日ノ缺乏ノ
一ツノ原因デアルコトニ思ヒヲ致シ
マスレバ、此ノ生藥ニ依ルト云フコ
トハ洵ニ私ハ御同感デアリマシテ、
此ノ點ニ付キマシテハ厚生省ニ於キマ

ニ於テ他ノ方面ニ藥ノ原料ガ使用サレ
ル程度ガ段々殖エテ參リマシタ、例ヘ
バ「アルバジル」ニスル所ノ藥ノ一部
ガ軍ノ樞要ナル方面ニ廻ハサレル爲
メ、ア、云フ風ナ必要ナ藥モ出來ナ
イ、「アルコール」ヲ使用スル所ノ藥ノ
如キハ九月カラ一滴ノ配給モナイ、是
等モ外ノ方面ニ於テ使ハナケレバナリ
マセヌ、サウ云フヤウニ藥ノ原料ハ段
段減ツテ參リマス、殊ニ軍需ニ要スル
藥ガ益、殖エテ參リマシタ、ガカラ民
需ノ藥、原料ガ減ルト云フコトハ、是
ハ如何ニシテモ避ケベカラザル問題デ
アルト思ヒマス、此ノ場合私ガ政府ニ
要望致シテ置キタイノハ、自家用藥園
ノ問題デアリマス、詰リ段々化學的ノ
藥ハ他ノ方面ニ使ハレル場合ガ多イノ
デアリマスカラ、此ノ原料ヲ得ルト云
フコトハ困難デゴザイマセウ、併シ今
日斯ウ云フ場合ニナリマスト、昔ノ草
根木皮、或ハ漢法醫ノ使フヤウナ藥
斯ウ云フ風ナモノヲ餘計使用シテ、サ
ウシテ一時ノ急ニ間ニ合ハセル必要ハ
ナイカ、ソレニ付テハ、現在ノ程度デ
ハ中々藥園ト云フモノヲ擴張スルコト
ハ出來マセヌ、其ノ禍ヒヲナクシテ居
ルノハ供出制度デアリマス、自分ガ新
シク藥園ヲ作り、サウシテ自分ノ藥ノ
方ニ其ノ原料ヲ使ヒタイト思ヒマスル
ガ、其ノ大部分ハ供出シナケレバナラ
ヌ、其ノ爲ニ折角自分ガ苦心シテ作ツ
タモノガ使用出來ナイ、之ニ付テ藥業
者ハ今非常ニ頭痛メテ居ルノデアリ
マス、之ニ付テハ無論其ノ或ル部分ハ
供出シナケレバナリマセヌ、ケレドモ
自家用ニ付テ、何割ト云フモノハ確實
ニ其ノ作ル者ニ使用セシムルト云フ規
定ヲ設ケテハドウカ、現在ノ程度ニ於
テハドノ程度ニナツテ居ルカ、所謂藥

屋自身が作ツタ藥ノ原料ハ、自家用ト
シテ何割使用出來ルカト云フ此ノ原則
ガ決マツテ居リマスカ、或ハ聞ク所ニ
依リマスト、八割以上ハ供出シナケ
レバナラヌト云フ風ノコトモ聞イテ居
リマスカ、是ハ事實デアルカ、少
クトモ私共ハ其ノ半分位ハ自家用ニ使
ハシムルト云フ風ノ規定ヲ設クルナラ
バ、是ハ相當藥ノ原料ハ出來ルト思ツ
テ居リマス、殊ニ最近大分藥業者ノ間
ニ問題ニナツテ居ルノハ、御承知ノ通
リ砂糖ガアリマセヌ、砂糖ノ配給ハ段
段少クナツテ來ル、是ニ於テ藥業者ガ
今計畫シテ居ルノハ、北海道其ノ他ニ
菊芋ヲ作り、是カラ糖分ヲ採リ、之ヲ
藥ニ廻ハシタイト云フ風ノコトヲヤツ
テ居リマスカ、併シ菊芋カラ採ツタ
所ノ砂糖モ大部分他ノ方ニ廻ハサナケ
レバナラヌ、自分デ一體ドレデケ使用
出來ルカ、殆ド碌ニ使用出來ナイト云
フ風ノ狀態デアリマスカ、此ノ爲ニ
其ノ原料ノ栽培スラモ出來ヌト云フ狀
態デアリマス、故ニ斯ウ云フ點ニ於キ
マシテ其ノ自家用ノ藥トナリ、或ハ藥
ノ原料トナルベキ所ノ砂糖ナリ、種々
ノモノヲ作ツタ場合ニハ、ドレデケ自
家用ニ使ヘルカト云フ確乎タル方針ガ
決マツテ居リマスカドウカ、此ノ點ニ
付テ當局ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○龜山政府委員 今御話ノアリマシ
タ如ク現在ノ醫藥品ノ缺乏狀態カラ、
之ヲ所謂生藥、漢藥、藥草ニ依ルト
云フコトハ至ク御同感デアリマス、
從來餘リニ醫藥品ガ化學藥品ニ依存
シ過ギマシタコトガ、今日ノ缺乏ノ
一ツノ原因デアルコトニ思ヒヲ致シ
マスレバ、此ノ生藥ニ依ルト云フコ
トハ洵ニ私ハ御同感デアリマシテ、
此ノ點ニ付キマシテハ厚生省ニ於キマ

シテモ是ガ栽培、採取ノ獎勵ヲ致シ、又其ノ反別等ニ付キマシテモ、農商當局ト協議ヲ致シマシテ、最小限度漢藥ノ栽培ニ必要ナル面積ハ、之ヲ今年度ハ確保致シタリデアリマス、ソコデ又ニ御話ノアリマシタ生藥ヲ栽培若シハ採取シタ者ニ、或ル程度自家用トシテ認メテハドウカト云フ御話、及ビ其ノ割合如何ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、大體生藥ハ御存ジノ通り栽培スルモノト、採取スルモノトアリマス、又今マデモ是ノ蒐集ニ付キマシテモ、多クハ仲買人等ガ此ノ間ニ斡旋致シテ居リマス、是等ノ中デ、統制ヲ致シテ居リマス生藥ニ付キマシテハ、今御話ノアリマシタ如ク、一般ノ販賣ヲ制限致シマシテ、日本生藥ノ方デ一手是ガ買受ヲ致シテ居リヤウナ譯デアリマスガ、ソレ以外ノ生藥ニ付キマシテハ、自家用消費ハ勿論、他ノ販賣等モ認メテ居リヤウナ譯デアリマス、ソコデ御話ノアリマシタ統制シテ居リマス生藥ニ付テ、自家用消費ヲ認メル問題ニ付キマシテハ、私ハ或ル程度御話ノ如クスルコトガ生藥ノ増産ニナルト思ヒマス、唯此ノ問題ハ簡單ニ申上ガ兼ネマスコトハ、御承知ノ如ク生藥ハ地方ニ依ツテハ非常ニ餘計採レマスケレドモ、地方ニ依ツテハナイ場合ガアル、又其ノ生藥ガ國內全部ニ配布スルコトハ必要トスルヤウナ藥品デアリマス場合ニハ、之ヲ餘リ自家用トシテ多ク認メマスレバ、國內全部ノ需要ニ充當出來ナイ、斯ウ云フヤウナコトモアリマスノデ、其ノ點ヲ既ミ合セマシテ、今清水サシノ御話ノ如ク、或ル程度自家用消費ヲ認メルト云フコトハ實行致シタイ、斯様ニ思ツテ居リマス、唯其ノ割合等ニ付テハ、此ノ際今申

上ゲマシタ全國ノ重要製藥ノ必要量等ヲ勘案致シマシタ上デ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○清水委員 今一點御伺ヒシタイノデアリマスガ、醫藥品ノ配給ニ付キマシテハ、醫師側ニ對スル配給ト藥關係ニ對スル配給、其ノ割合ハドウナツテ居リマスカ、又同ジク配給ニ於キマシテハ醫師側ニ致シマシテモ、聽キマスルト公立病院其ノ他ニ向ツテハ餘計ノ配給ヲシ、或ハ普通ノ開業醫ニ向ツテハ少イ配給ヲシテ居ル、サウ云フ配給ノ割合ニ付テ、無論種類ニ依ツテ違フノデゴザイマセウガ、開業醫ニハドウ云フ程度ノ配給ヲシテ居リマセウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス
○龜山政府委員 醫藥品ヲ大體大別致シマスレバ、現在醫藥品統制會社統制ヲ致シテ居リマス、所謂配給統制ヲシテ居リマス醫師品ト、然ラザル醫藥品トニ分チ得ルト思ヒマス、今御話ノアリマシタ點ハ醫藥品統制會社デ配給統制ヲ致シテ居リマス藥品ニ付テノ御質問ト思ヒマスガ、其ノ趣旨デ御答ヘラ致シタイト存ジマス、醫藥品統制會社デ統制致シテ居リマス藥品ニ付キマシテハ、今御話ノアリマシタ如ク、大病院等ニ付キマシテハ大口消費トシ、其ノ專門科名及ビ其ノ他ノ事情ヲ參酌致シマシテ、之ニ直接配給ヲ致シテ居リマス、然ラザル診療所或ハ醫師ノ方ニ對シマシテハ、之ヲ各府縣別ニ其ノ人口、醫師、藥局、或ハ藥種商、賣藥關係等ノコトヲ既ミ合セマシテ割當ラ致シマス、其ノ府縣ニ割當テタ數ヲ、更ニ府縣ニ於キマシテ縣ノ長官ノ手デ、醫師會及ビ齒科醫師會、藥劑師會、其ノ他關係當局ト相談ヲ致シマシテ配給ヲ致シテ居ルノデアリマス、全

國ノ醫師ノ方ニドノ位、齒科醫師ニドノ位、賣藥ニドノ位ト云フ割合ハ一寸決メ兼ねテ居リマス、地方々々ノ事情ニ依リマシテ配給ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマス
○渡邊(健)委員 一寸關聯シタ問題デ——醫師ノ不足ニ付テ先程衛生局長カラ御話ガアリマシタガ、女醫ニ對シテ既ニ就業命令ガ出、又徵用モ目下何處ニ實施シタ宜イカト云フコトヲ調査中ダト云フコトデ、重要工場及ビ無醫村ニ徵用スルト云フ御話デアリマスガ、コンナニ醫者ガ不足シテ居ル時ニ無醫村ニ徵用スルト云フコトハ、是ハ無醫村ノ人ニ對シテハ非常ニ氣ノ毒デ同情ニ値スルノデアリマスガ、併シ無醫村ニ醫者ガ行ツテ一日ニ何人ノ患者ヲ診ルカト云フト、私多クテ十五人カ二十人デハナイカト思ヒマス、所ガ今或ル病院ニ行クト、一人ノ醫者ガ多イ所ニナルト百五十人ノ患者ヲ診テ居リマス、人物經濟ノ上カラ言ツテ、無醫村ニ徵用シタルト云フヤウナコトヨリモ、斯ウシタ方面ニ向ケタルト云フコトガ非常ニ大切デハナイカト思ヒマス、一體百五十人ノ患者、百人ノ患者ヲ診ルト云フト、ソレハモウヘトヘトニ疲レテシマヒマス、ダカラ寧ロ無醫村ニハサツキ清水委員カラモ御話ガアツタヤウニ、保健婦ノ方ヲ十分ニ配置シタル、サウシテ保健婦ニ對シテ或ル程度診療ヲ許スト云フヤウナ方針ヲ執ツタ方ガ、非常ニ宜イノデハナイカト思ヒマス、サウシテ其ノ保健婦ガ診タルト云フ風ニスル方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、北海道方面デハ保健婦ガ非常ニ能ク普及ラシテ居リマシテ、實際ニ於テ「カンフル」ノ注射、

強心劑ノ注射、「モルヒネ」ノ注射ナドハ默認シテ居リヤウデアリマス、サウシテ非常ニ感謝サレテ居リマス、之ヲ默認ト云フ程度デナク、或ル藥ニ限ツテハ、或ル程度許シタルト云フヤウナコトニスル方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、殊ニ死亡診斷書ヲ貰フ爲ニ、是ハ醫者ノ方デモ非常ニ迷惑デアリマス、田舎ヘ行クト、一日掛リデ行ツテ何ヲ診テ來ルカト云フト、老衰デ死ンダ病人ヲ診テ來ル、サウ云フヤウナ無醫村ニ對シテハ、保健婦ガ死體檢案ヲスルナリ、死亡診斷書ナリヲ書キ得ル、或ル制限ヲ加ヘテ書キ得ルト云フヤウナ風ニシタルコトガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、コンナ方面ニ對シテ何カ御考ヘガアリマスカドウカ、局長サンノ御意見ヲ伺ヒマス
○龜山政府委員 先程私ガ申上ゲタ無醫村方面ニ對スル醫師ノ就業命令、若シハ徵用ト云フコトニ付キマシテ、一寸誤解ガオアリノヤウデアリマスカラ其ノ點ハ訂正申上ゲマス、無醫村ニ對シテハ疎開兒童ニ付テ就業命令ヲ醫療團ニ出シテ、疎開兒童ノ診療ニ當ルノデアリマス、唯徵用ニ付キマシテハ今御話ニアリマシタヤウニ重要工場、ソレカラ國、公共團體若シハ日本醫藥團ノ經營スル病院等ニ於テ、必要ガアレバ之ヲ醫師ヲ徵用ヲ以テ配置スル、其ノ他厚生大臣ニ於テ必要ト認メマス、或ハ赤十字ノ醫者デアルトカ、或ハ濟生會等ノ類ムト云フ場合ニ補充スル積リデアリマス、又場合ニ依レバ、無醫村ニモ色々種類ガアリマシテ、今御話ノヤウナ所ノ患者ガ日二十五人トカ十人ト云フ程度ハ、今日日本醫師會ガ挺身診療ヲシテ居リマスガ、アノ行キ方、或ハ御話ノアリマシタヤウニ、保

健婦モ此ノ挺身診療ノ醫師トノ繋ギ合ハセニ依ツテ活用シテ行ツテモ宜イカト思ツテ居リマス、唯今御話ノアリマシタ保健婦ノ活用ヲ、或ハ死亡診斷書其ノ他ノ、今マデ考ヘラレテ居ル醫藥範圍ニ於テ之ヲ利用スルト云フ問題ニ付キマシテハ、研究ヲ要スル問題ガ多クアルト思ヒマスガ、死亡診斷書ヲ保健婦ヲシテ書カシメルト云フ問題ニ付キマシテハ、遺憾ナガラ御同意致シ兼ネマス、唯醫師ノ監督ノ下ニ、醫師ノ責任ノ下ニ、醫師ノ介護トシテ輕易ナ注射、或ハ輕易ナ處置ヲスルト云フ點ニ付テ、保健婦ヲ活用シテ行クト云フコトデ十分デハナイカ、ソレ以上ノ問題ニナリマスレバ事人命ニ關スル問題デモアリマス、十分ノ知識ヲ持ツテ居リマセヌ保健婦ニ、醫師ト同様ノ業態ヲ認メルト云フコトニ付キマシテハ、目下ノ所幾ラ戰時特例トハ言ヒナガラ御同意致シ兼ネマス
○渡邊(健)委員 勿論現在ノ保健婦ヲ其ノ儘デ充テトロ申スノデハゴザイマセヌ、今一年カ二年、マア一年間デモ宜イト思ヒマスガ、相當ニ其ノ方面ノ教育ヲシテ、或ル制限ヲ加ヘテ、此ノ藥ト此ノ藥ハドレダケ注射シテモ宜イト云フ制限ヲ加ヘルト云フヤウナコトデナイト、唯醫師ノ監督ノ下ニ付テドウシテモアレナイコトニナリマス、醫者ガ初診ヲスル、例ヘバ胃腸症デ非常ニ苦シンデ居ルト云フヤウナ場合ニ、醫者ガ行ツテモ間ニ合ハセヨウト云フ初メテ保健婦デ間ニ合ハセヨウト云フノデス、ダカラ其ノ苦シミヲ取ツテヤルト云フコトガ必要デハナイカ、現在醫者ガ診テ居タラ、ソナナコトハ簡單ニ治ルコトデス、ダカラサウシタ現在

ノ保健婦ヨリモ一步先ノ教育ヲシテ、
或ル制限ヲ加ヘテ、限地開業のニ、其
ノ村ダケニソシナ風ナ方針ヲ執ルコト
ガ、醫者ノ不足ヲ緩和スル一ツノ方法
デハナイカト思ツテ申上ゲタノデアリ
マス

○中井川政府委員 先刻富田サンヨリ
本法施行ノ時期ニ付テ特ニ御熱心ナル
御主張ガアリマシタカラ、之ニ對シテ
御答ヘヲ致シテ置キマス、富田サン御
承知ノヤウニ、從來ノ社會保險ニ於テ
ハ實施マデニハ半單位ノ準備期間ガア
ツタノデアリマスルガ、御話ノ如ク時局
ニ顧ミマシテ、萬般ノ準備ヲ急ギマシ
テ、來ル四月一日ヨリ之ヲ施行スルコ
トニ相成ツテ居リマス、御諒承願ヒマス
○村松委員長 質疑ハ明日ニ續行致シ
マス、午後一時會議ヲ開始致シマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時四十一分散會

昭和二十年一月二十七日印刷

昭和二十年一月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局